



R18  
ADULT ONLY

登場キャラクター紹介

クウマ

火鼠波動流の武道家。親友のバツと共に日々修行に明け暮れている青年。本人に自覚は無いが侵略者による犯罪に出くわした際には人々を守るために全力で闘う正義感の持ち主。いつか地球を飛び出して宇宙中の強者と拳を交えることを夢見ている。

センノ

地球侵略に訪れた異星人。鍛え上げられた肉体とちんこをこよなく愛する。恐るべき侵略計画を実行するために地球全土にその目を光らせついにクウマを見つけ出す。

直接の戦闘能力は高くないが様々な超能力と独立して動く両腕を駆使して強敵とも互角以上に闘う事が出来る。



何故  
こんな力を!!

下等生物の  
分際で……

おのれっ……

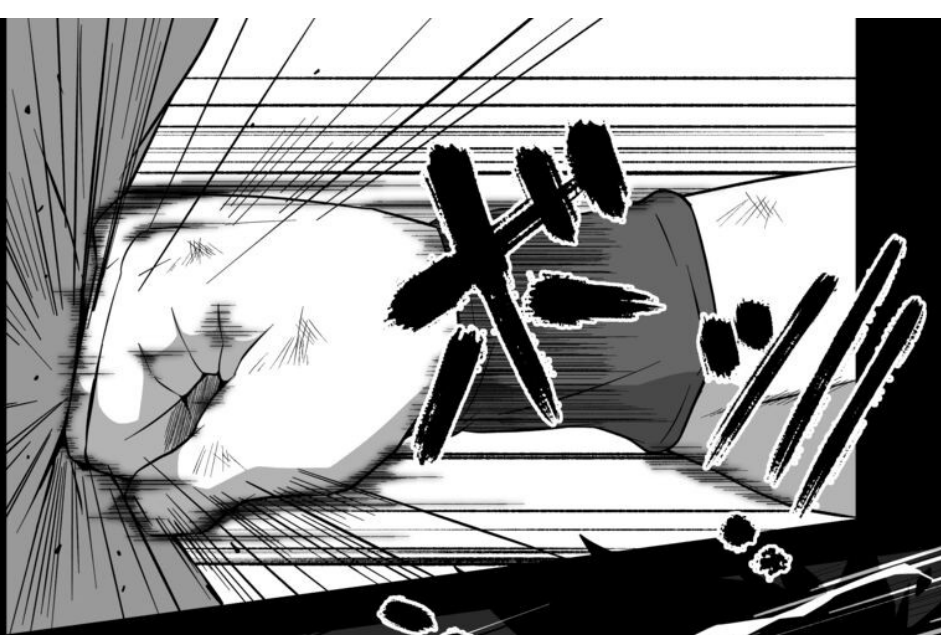
うむ

センノ様  
モニター6号が  
捕らえた映像を  
ご覧ください



イカ星人!!

覚悟!!





火鼠波動流武道家

クウマ

押忍!!

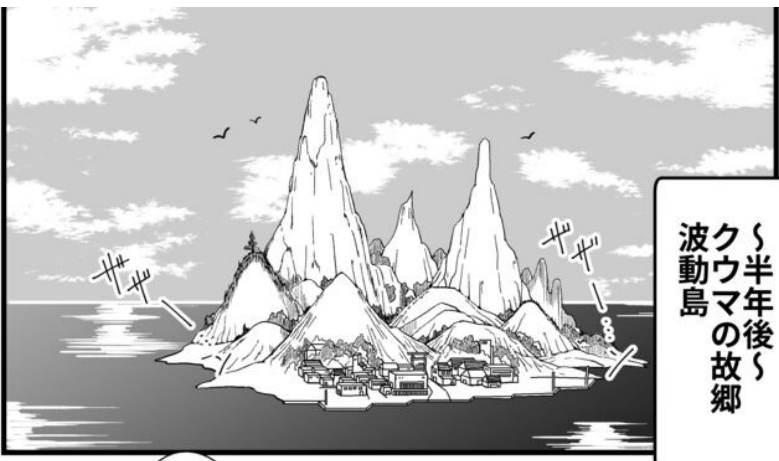


素晴らしい！  
見つけたな...

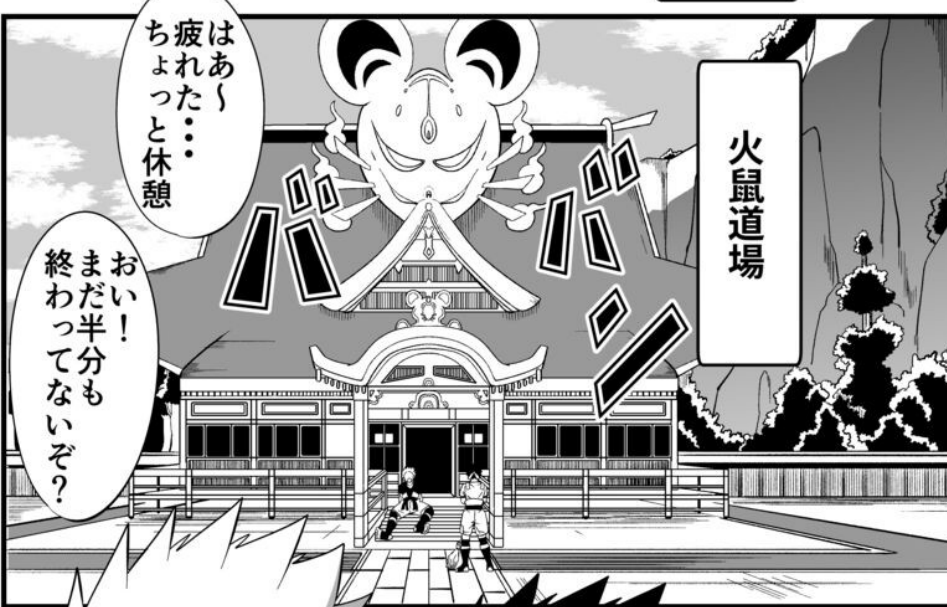
はい...  
地球人とは思えない  
凄まじい戦闘力です

なんとっ!!  
あのイカ星人を  
一人で倒すとは...

半年後、クウマの故郷、波動島



火鼠道場



はあ、疲れたと休憩

おい！まだ半分も終わってないぞ？



今頃師匠たちは温泉楽しんでんだろな...

だから留守番は俺に任せて一緒に行って来いって言ったじゃんか

何言ってるんだよクウマ



俺はお前と二人きりの留守番を楽しみにしてたんだぜ？



せっかくみんないねえんだ...

久しぶりに楽しい事しようぜ

火鼠波動流武道家  
バツツ





俺が勝った  
時は？

その時は  
仕方がないから  
俺がイカセテやるよ



俺が勝ったら  
この場で  
オナニーして  
もらう



まあ…いいや  
俺も久しぶりに  
バツツとやりたかった  
とこだ

お？



なんだよそれ  
勝つても負けても  
俺イケことにな  
ってんぞ？

細かい事は  
気にすんなって

健全な  
肉体と精神の  
ためだ



その勝負  
受けて立つぜ！

やるって…  
なんか  
エッチな言い方だな







二人の体力が  
消耗するのは  
好都合だ……

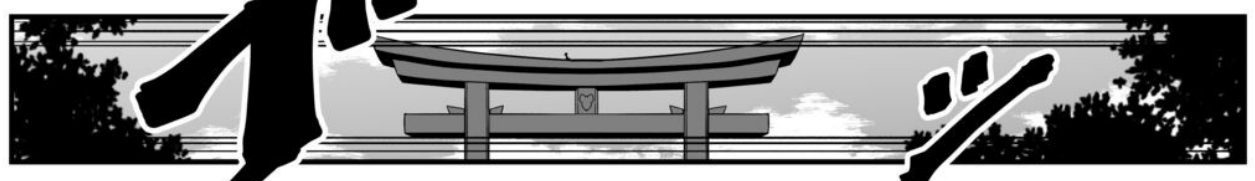


待つさ  
じつくりとな

センノ様  
いかがしますか？



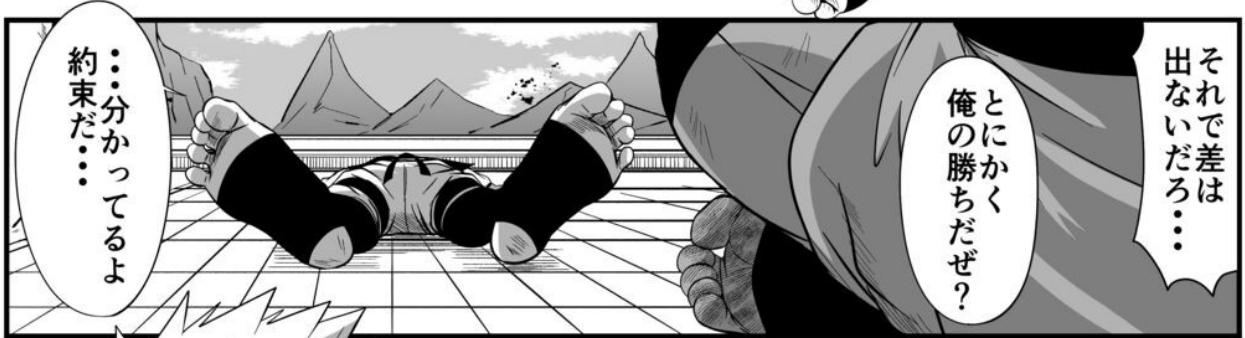
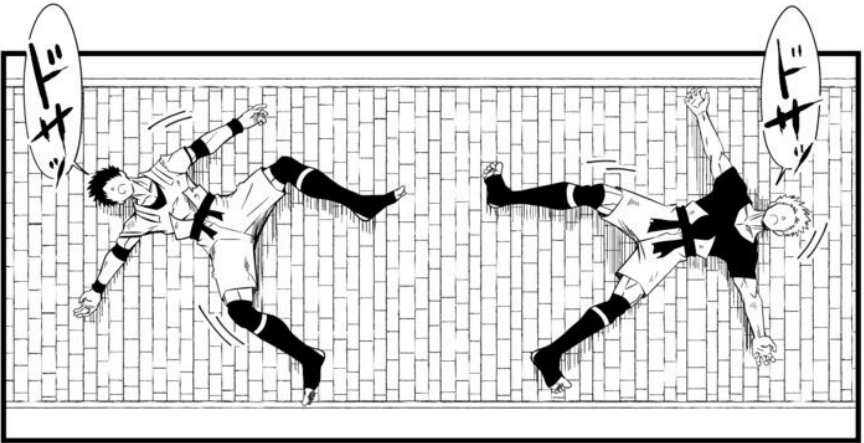
ふふふ  
元気でよろしい



ぐうっ……!!



ぬうっ……!!





けど次は  
負けねえからな

…だろ?…



やっぱ  
一番気持ち良いのが



…分かってるよ  
やるからには  
全力だ…

うむ!



おし!

じゃあ  
やるから  
しっかり見てろよ!

おう!

テキトーな  
オナニーしねえように  
見張ってやるよ



俺のことは  
気にすんな

その辺の小石と  
思っ  
遠慮なくやってくれ

そうは  
いかんぞ!

今だエース!

はっ!



じー…

いや…  
そこまでジッと  
見なくても…



これよりクウマ捕獲作戦を開始する!!!



機は熟した...

!!



体が動かねえ...



なんだ? 重い...



ズ

!?



ズ

ズ...



ドゥッ!!

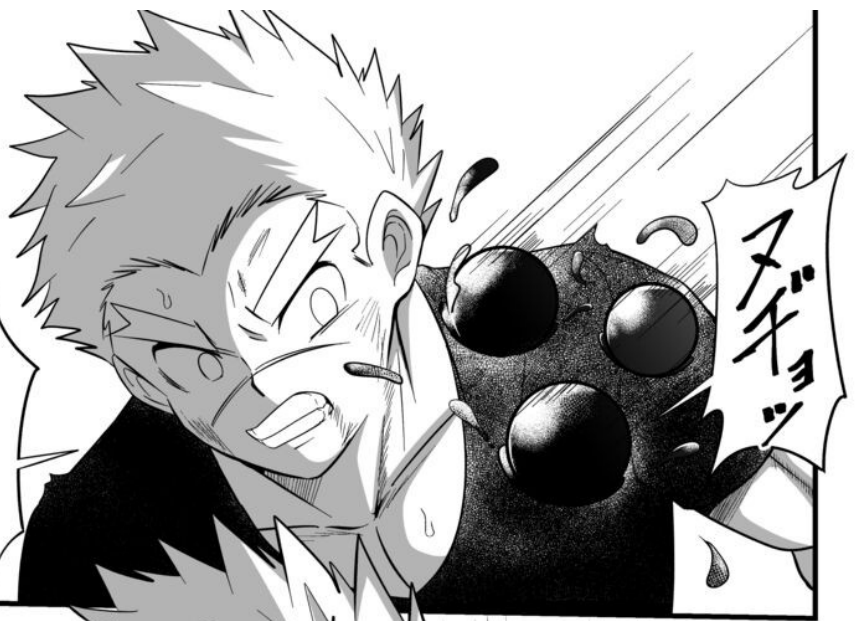
クウマッ!!



ぐあっ...  
あああ...  
...



何だこれ!?



ズギョッ



バツツ!!



ぐあつ...  
ああつ...



何だ  
貴様は!!

会いたかったぞ  
クウマ



これで  
二人きりに  
なれたな

!?



私の名は  
セシノ

お前に挑戦  
しにきたぞ  
クウマ

セシノ



ならば  
この勝負は  
私の勝ちだな

それより  
どうしたクウマ  
お前の力は  
そんな程度か？

ゴゴゴ



貴様  
よくもバツツを!!

安心しろ  
少しの間  
大人の間に  
まらうだけさ

ビクッ

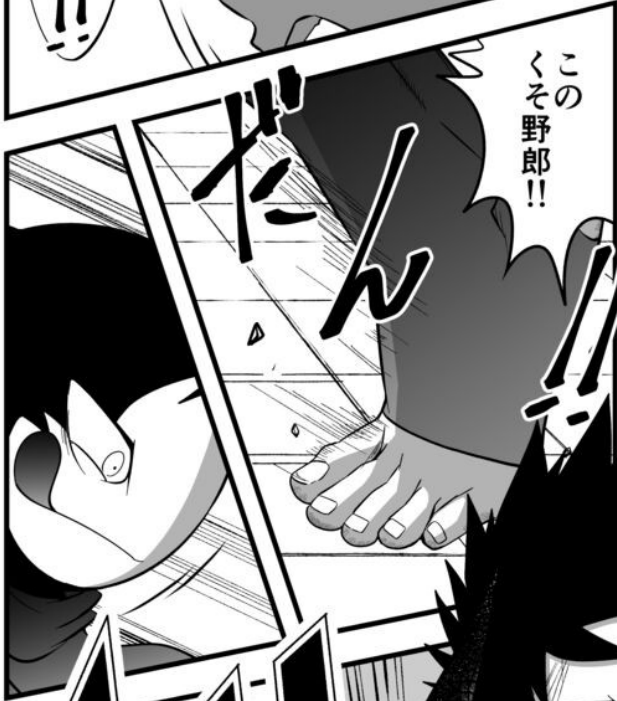
ビクッ



何...  
言ってやがる

勝負は  
ここからだ

ゴゴゴ





ふふふ

こいつ  
手ごたえがねえ...

偽物...?

いや!  
奴の波動は視える  
奴自身は本物...

次で  
決めてやる!!

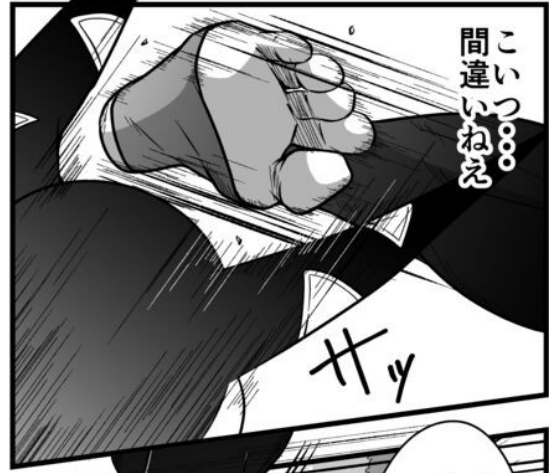
バキ  
ドク

危ない!



俺の動きを  
読んでやがる

んふふ



こいつ  
間違いない

キッ



分かる！  
分かるさ！  
お前の闘い方は！！

今日までずっと  
お前の事を  
見てきたんだ

お前が次に  
どう動くか  
私には手に取るように  
分かるぞ！！



ますます  
ますます  
クウマ



それでか  
この重さは……



しかし私は  
驚いているよ  
今この島の重力は  
この地球の50倍にも  
してあるというのに  
そこまで動けるとは……

体力を消耗して  
いかなかったらと  
思うと実に恐ろしい

俺は絶対勝つ!!

そのわりには全然わかってねえな!!

気味の悪い野郎だな!!

俺の事をずっと見てきたって?!

貴様にだけは絶対負けねえ!!!







高まった  
エネルギーが  
お前自身を襲う!!

ボンツ!!

吸い切れず  
やがて限界をむかえ



てめえ...  
何を...

波動エネルギーに  
干渉しお前に  
吸収させ続ける...

すると  
どうなるかな?

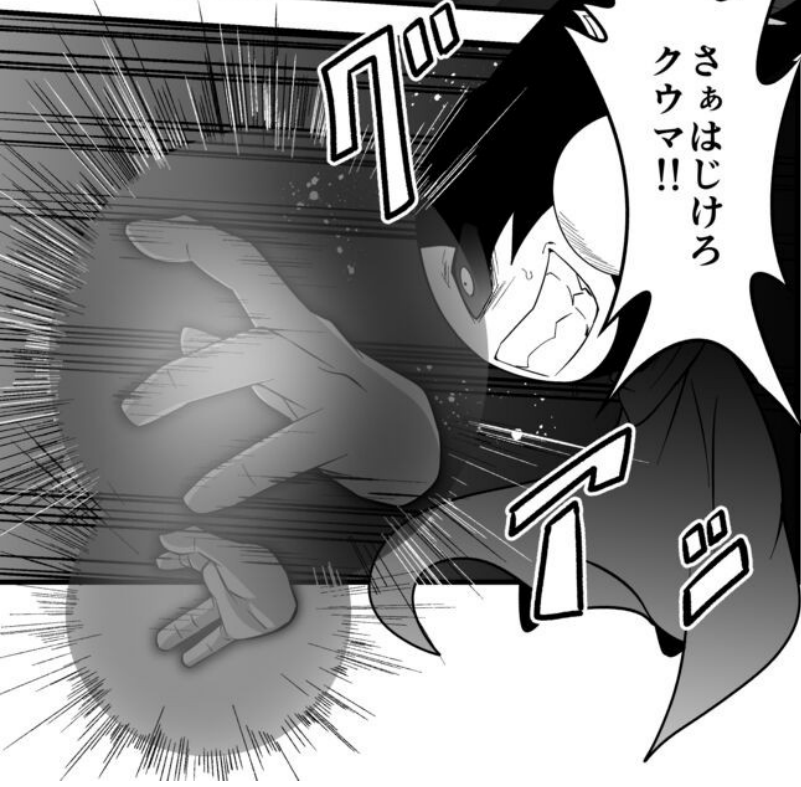


私にお前を  
倒すだけの力は  
無いのでね

お前の力と技を  
利用させてもらう  
ことにした

なめんなよ...

そうなる前に  
てめえを  
吹き飛ばしてやるよ...



さあはじけろ  
クウマ!!



無駄だ...  
今のお前では  
抗うことはできん

く...  
そ...

何とか...  
コントロールを...



ぐあっ...  
あああ...!!!

うあっ...



むっ!!



奴が消耗して  
いなければ  
危うかったかも  
しれん...

計算より  
ギリギリ  
だったな...



ドッ...





そんな所に跪いて  
どうした

絶対負けないんじゃ  
なかつたのか?  
ふふふ...



下まで  
破けなくて  
良かった

そこだけは  
私の手で  
脱がして  
やりたかったからな



おっと!  
お楽しみは後だ

く...

ふふふ

ふふふ



今すぐにも  
脱がしたい  
ところだが...

まずはしっかり  
とどめをささねば

...分身...  
した?



何か...  
...して...  
...く...

動かない...  
と...





んんっ…



ズル…



ふふふ  
心地よい声だ

グ  
イツ



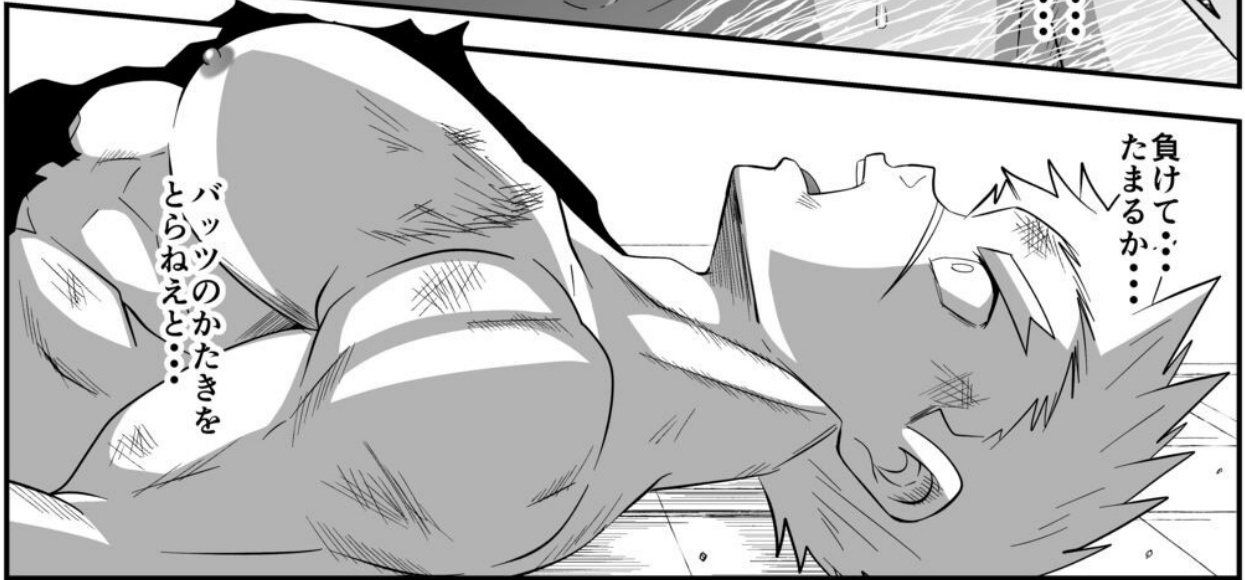
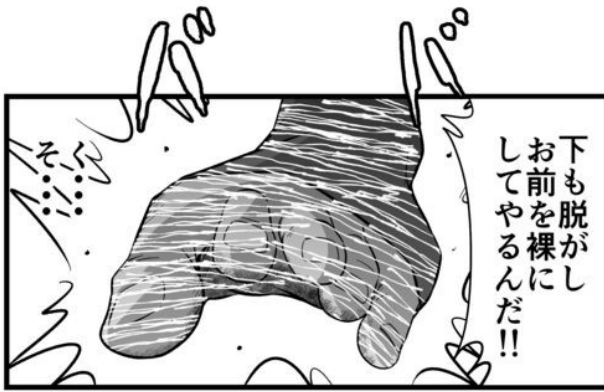
どうかクウマ  
特性捕縛光線の  
味は

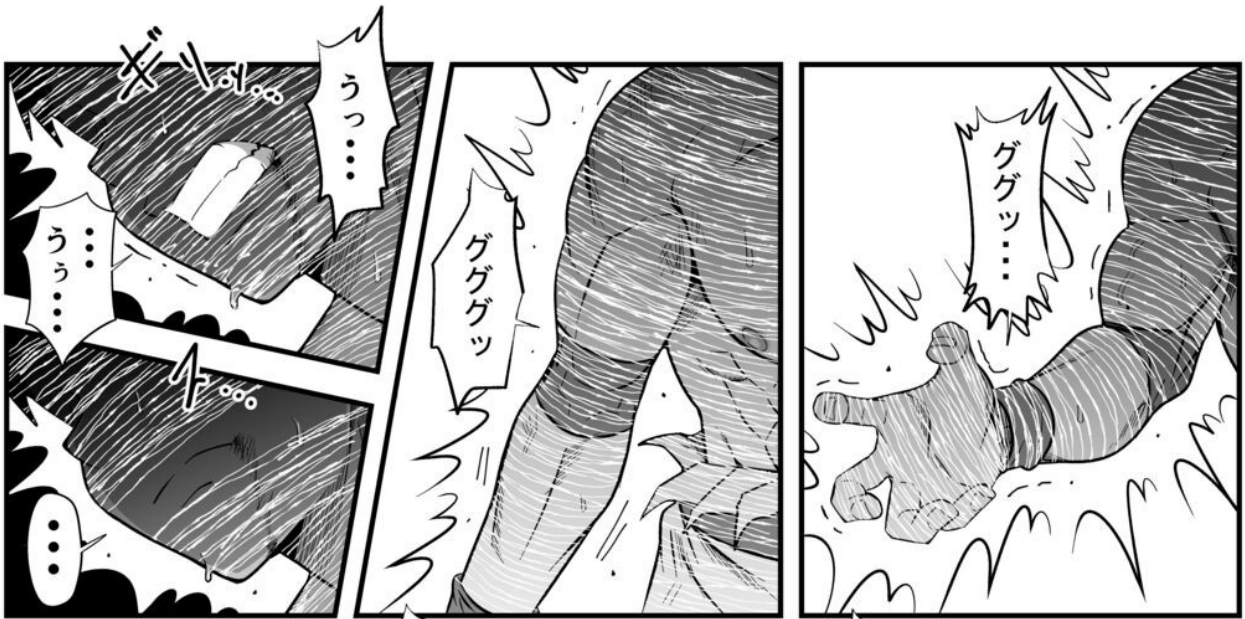
この光線は  
相手を勃起した  
ちんこのように  
硬直させる効果を持つ…

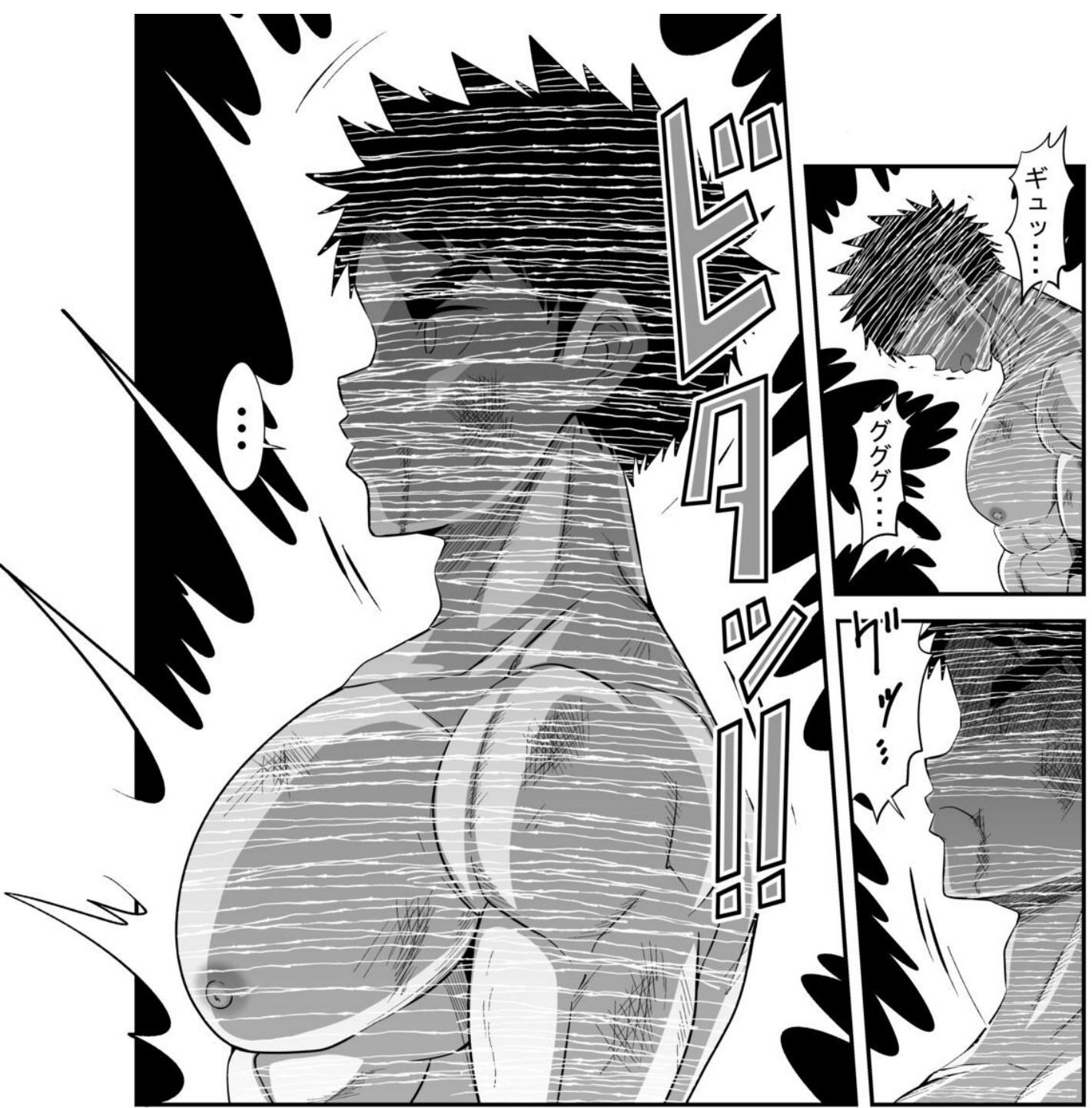
んん…

お前を捕らえる  
ために開発した  
光線さ

じっくり  
味わってくれ









ペチペチ

どうだクウマ  
もはやピクリとも  
動けまい



さっきまで  
あんなに元氣  
だった男が…

すっかり  
静かになって  
しまったな…



仁王立ちで  
佇む武道家…

素晴らしい  
作品となったな!!

ふふふ



お前に  
触れるのを  
楽しむにして  
いたんだ



おかげで  
心置きなく  
堪能出来る

この肉体をな

ガッ



こちらセンノクウマ捕獲に成功!

少しばかり楽しんでから帰還する

はいセンノ様

そういう訳だクウマ...



おおおっ!

ほほほ...  
これは...

グニツッ



もう何を言っても聞こえないだろうが抵抗したければいつでもいいからな

グツッ



ずっと触りたかったこの分厚い雄っぱい!!

想像よりもずっと柔らかい!

この弾力と触り心地は画面越しでは味わえん!

ムニッ

ムギツッ

ホリッ...



弄られにはいられない...

ケリッ

ケリッ



そこに浮かぶ乳首...

この形...  
色艶...

ムリ...



えぬ...

お前の肉体の  
全てに  
心ときめくよ...

トギ...



フー...



この手いっぱい感じる鍛え上げられた筋肉とその造形...

ギ  
ツ



そしてここ!  
ここはぜひともしも  
触って見たかった

ゴト  
ゴト



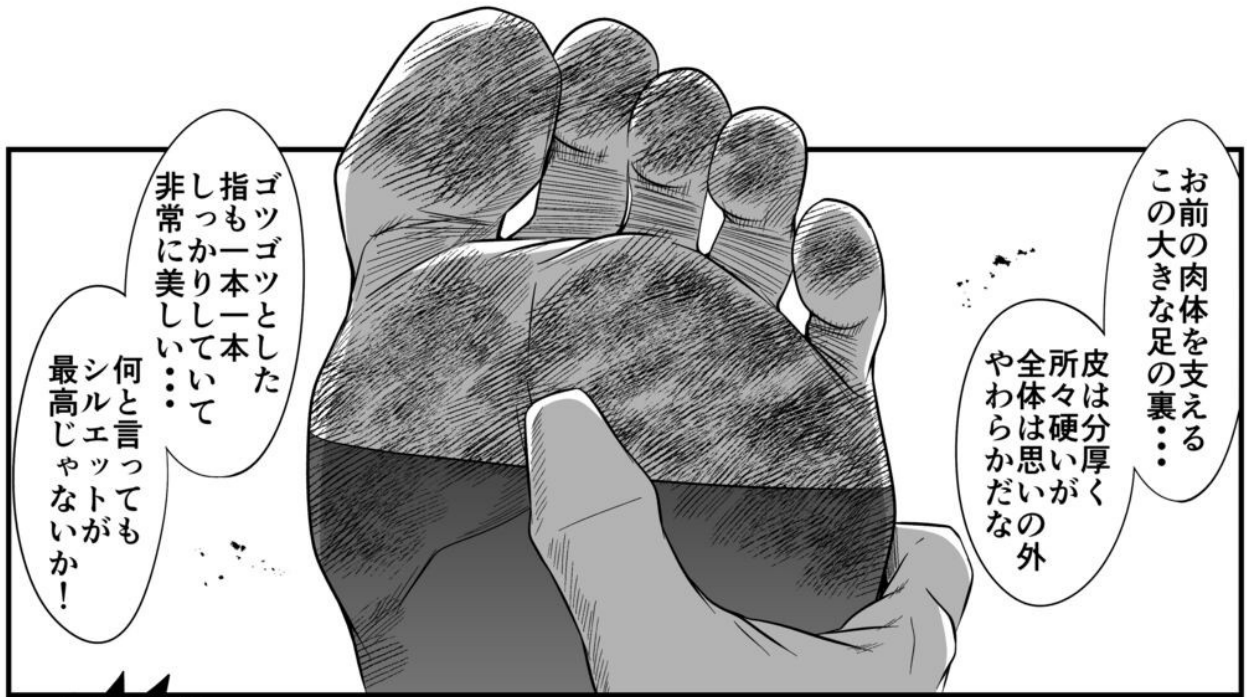
やはり戦士の  
肉体は生で  
味わうに限る

ホウ  
ミ



そうだろうか?  
クウマ

グ  
グ



お前の肉体を支える  
この大きな足の裏……

皮は分厚く  
所々硬いが  
全体は思いの外  
やわらかだな

ゴツゴツとした  
指も一本一本  
しっかりしていて  
非常に美しい……

何と言っても  
シルエットが  
最高じゃないか！



……  
そうしたかった  
だろうに……  
残念だったな

ポウ……



ん……  
この重量感！

これで蹴られたら  
私など一撃で  
殺されて  
しまうだろうな……



男前だぞ  
クウマ

グググッ

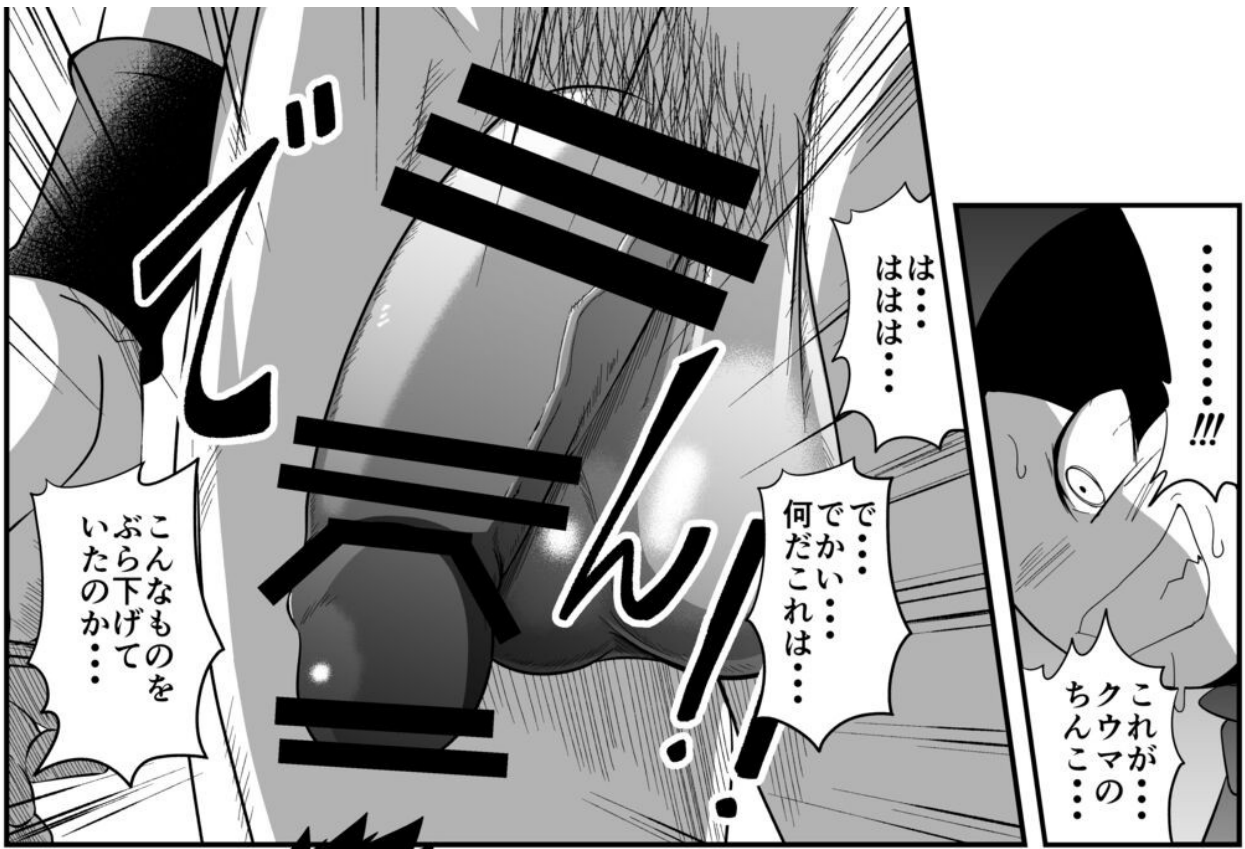


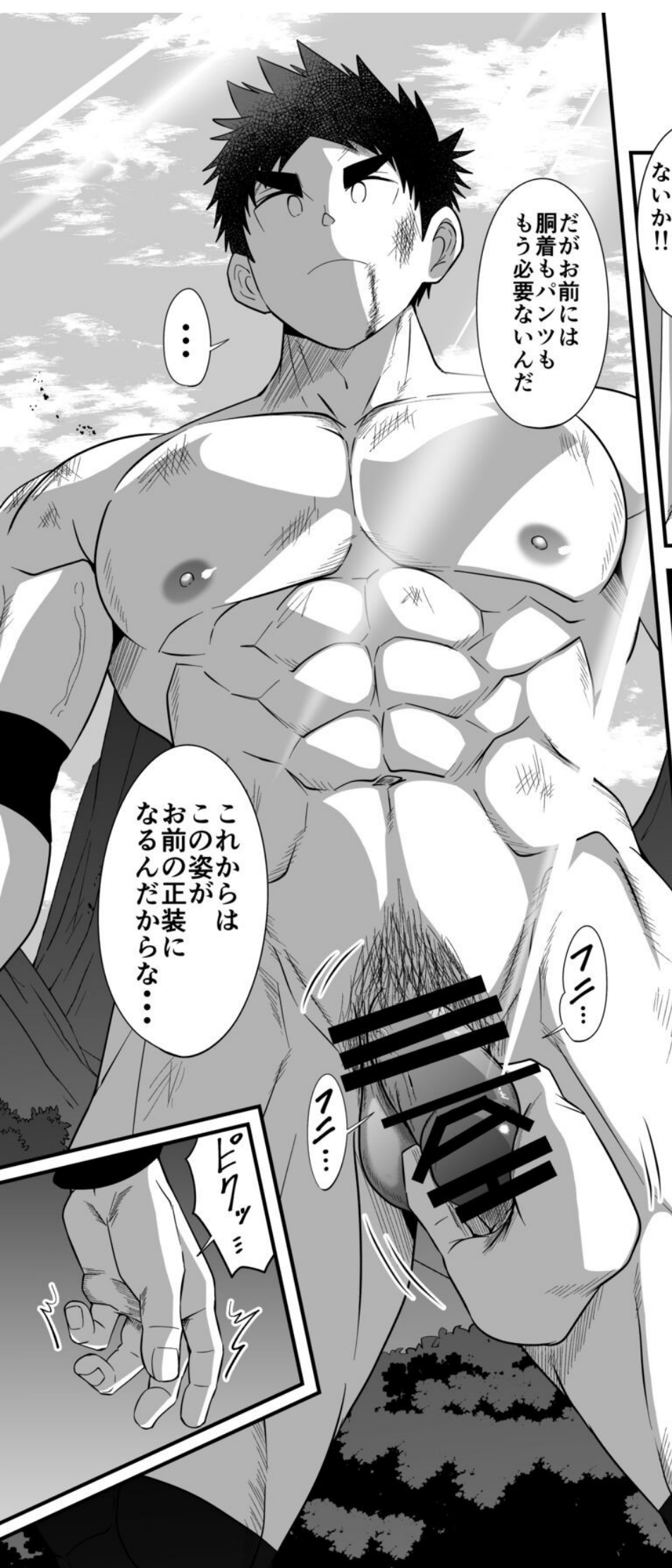
こんなことを  
されている間も

ただ黙って  
彼方を見つめる  
その表情……









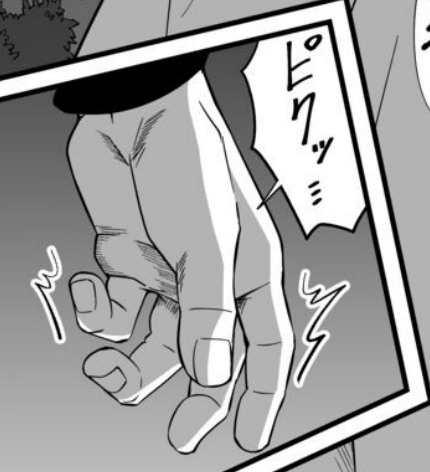
...

だがお前には  
胴着もパンツも  
もう必要ないんだ

これからは  
この姿が  
お前の正装に  
なるんだからな...

フニ...

フニ...



ポツッ



この亀頭を  
見てくれ...

宝石のように  
美しく  
輝いているじゃ  
ないか!!



ふ...

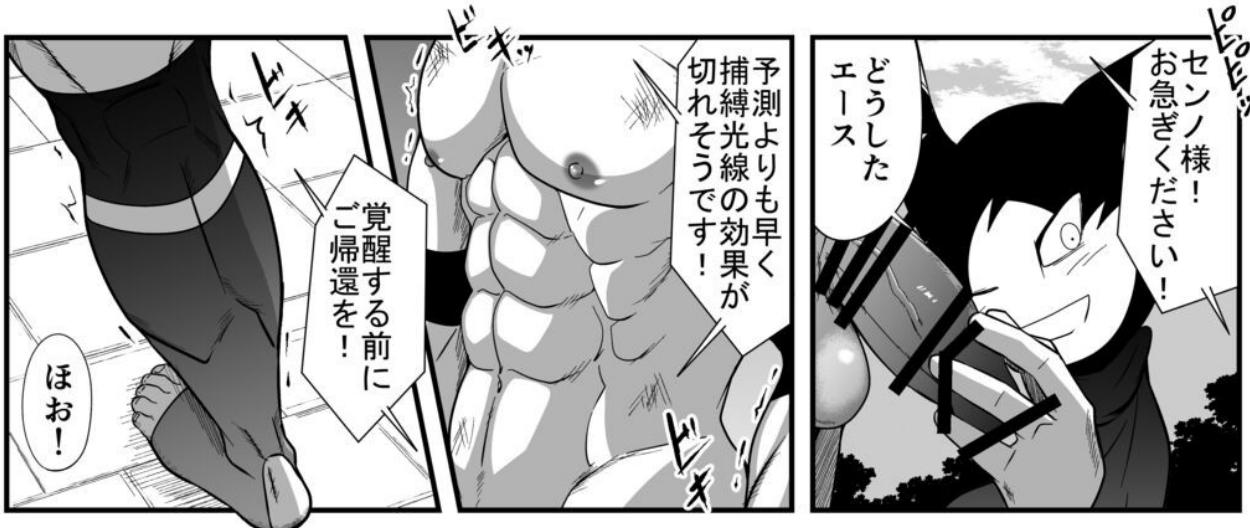
ふふふ...



私を倒そうと  
闘っていた男が...

ちんこ  
丸出しに...

さぞ  
悔しかろう



ほお!

覚醒する前に  
ご帰還を!

予測よりも早く  
捕縛光線の効果が  
切れそうです!

どうした  
エース

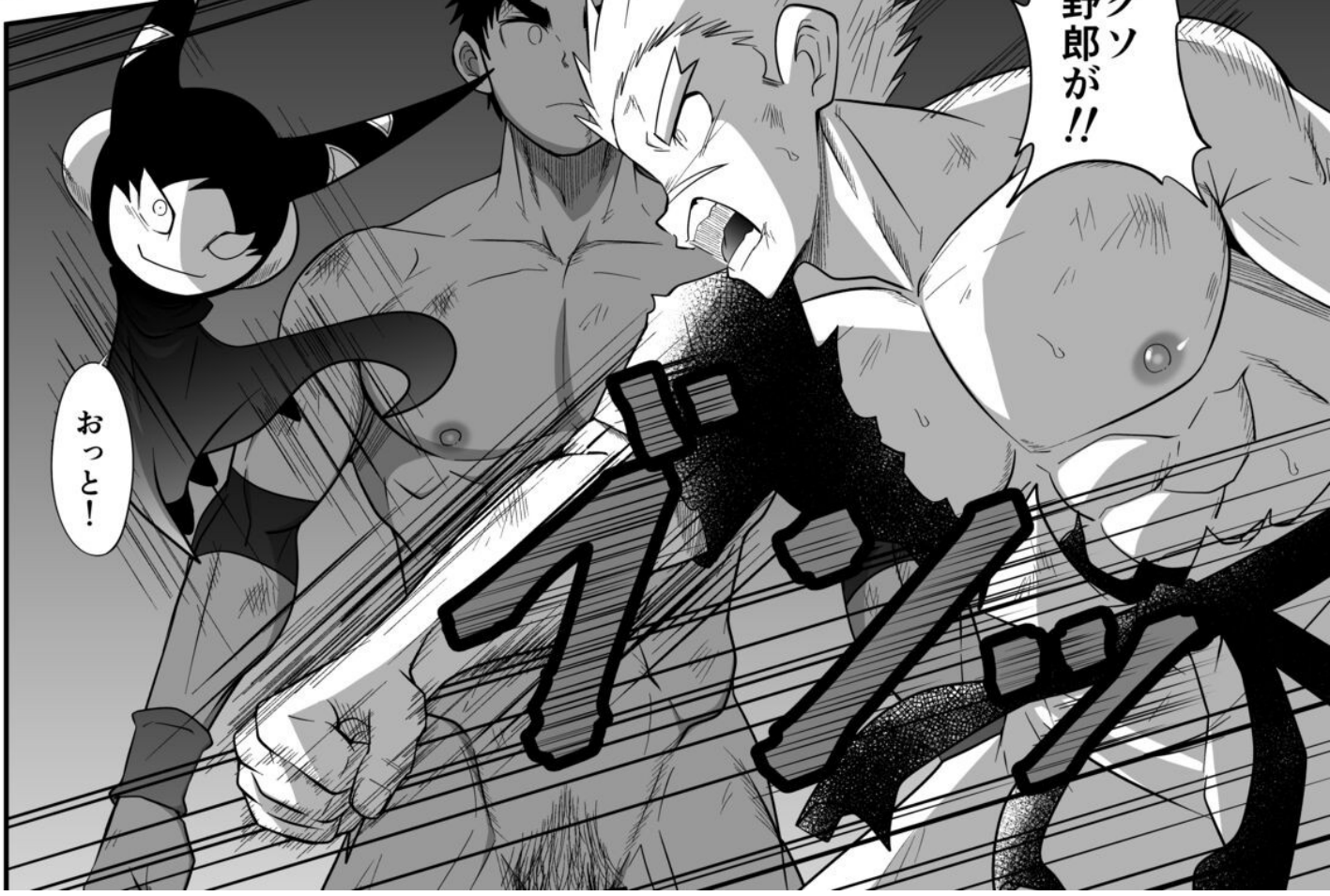
センノ様!  
お急ぎください!



もう少し  
楽しみ  
たかったが...

恐ろしい男だな  
お前は

我々の計算を  
上回るか...



おっと!

このクソ  
変態野郎が!!



おい!  
クウマ!?



なんと!  
もう目覚めたか!

タフな男だな  
バツツ

大丈夫か...  
クウマ



クウマ!!



どうだ...  
勃起したちんこ  
みたいに硬いだろう?



は...?  
なんだよ...  
これ...

ふふふ



分かってるだろう?  
今のクウマは  
置物同然!

親友の声も  
届かんよ

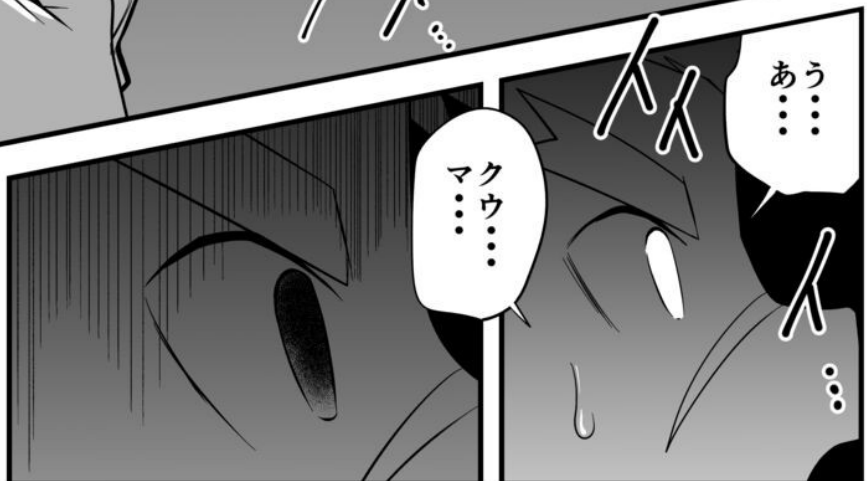
てめえ...

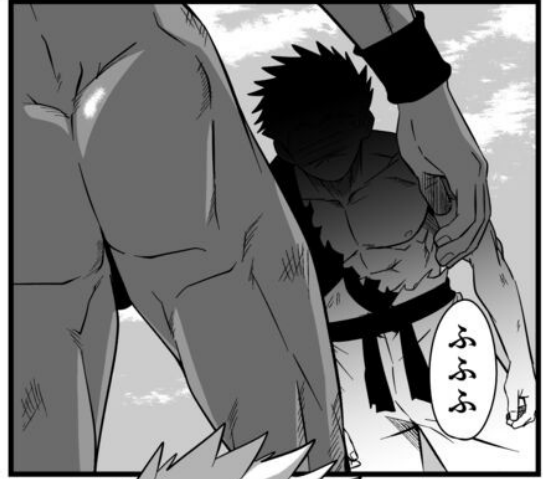
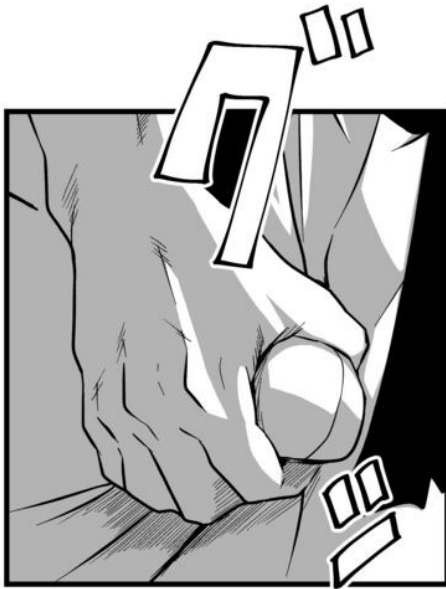


何黙って  
つつ立ってんだ!

聞こえてんだろ!  
返事しろって!!







クウマと  
闘ってくれた  
おかげでお前も  
消耗した

お前には礼を  
言うぞバツツ

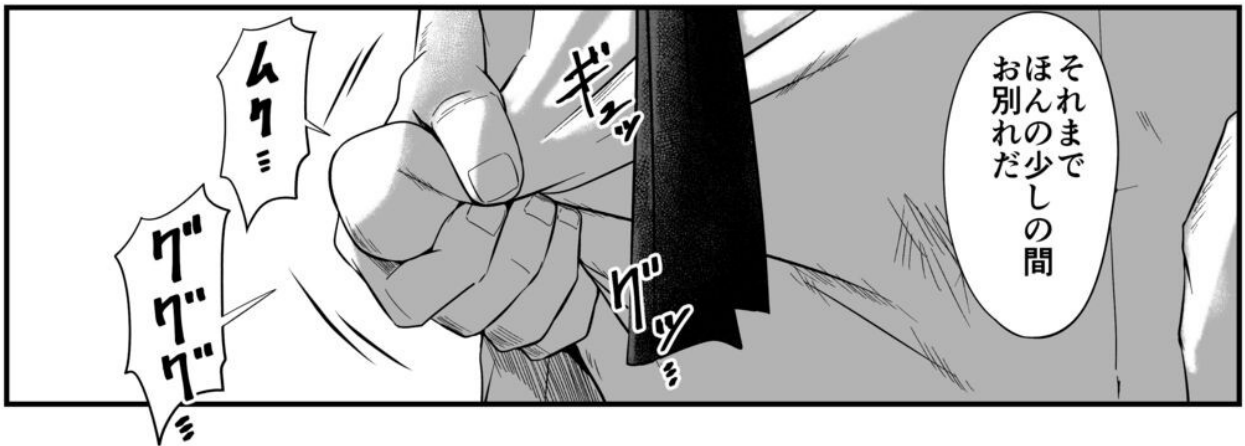


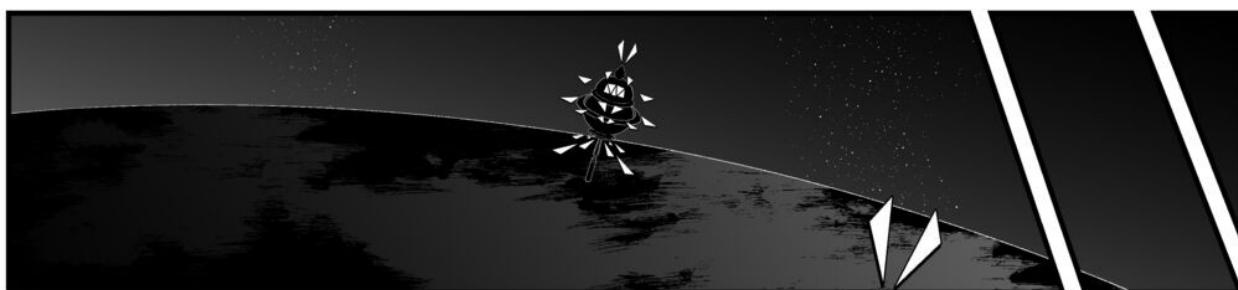
でなければ  
この捕獲作戦  
しれんからな  
苦勞したかも

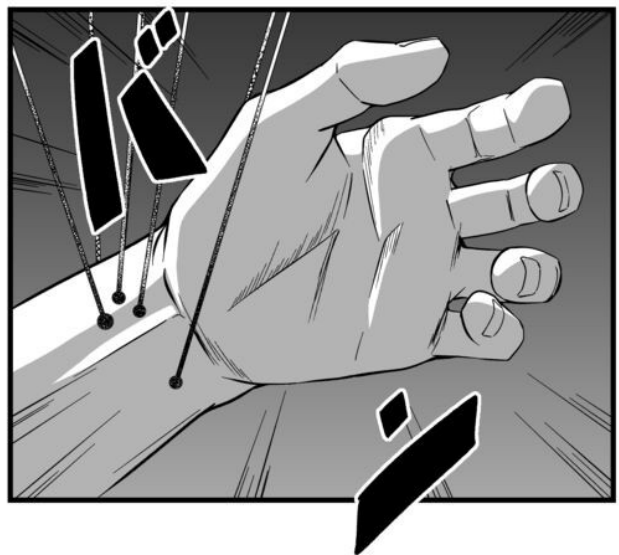
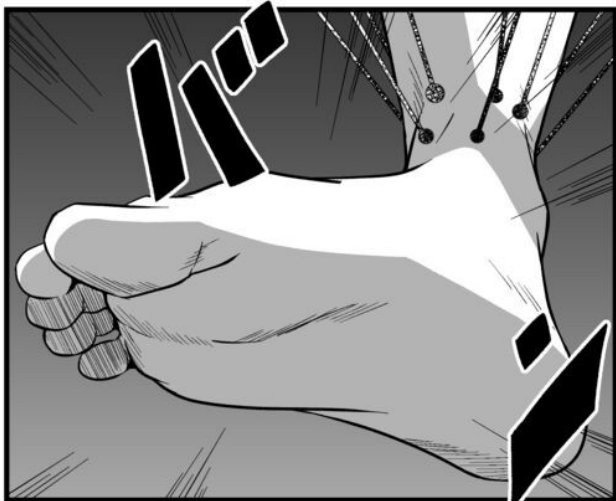
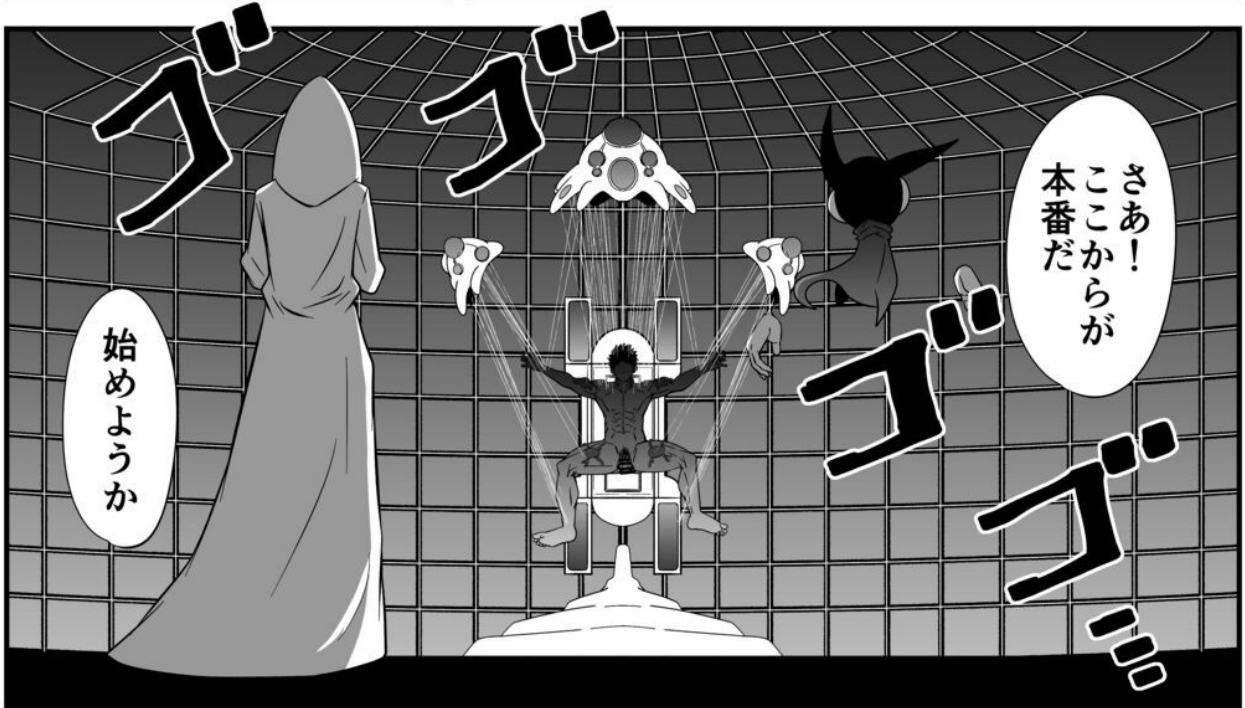


良い子だ  
バツツ

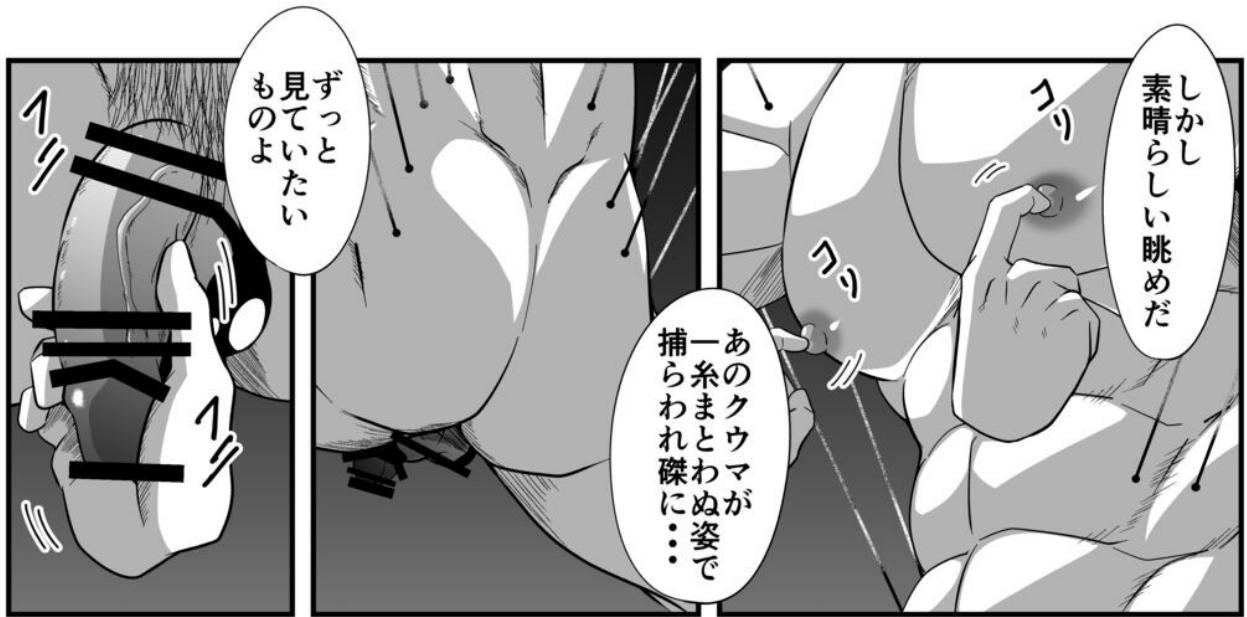
...

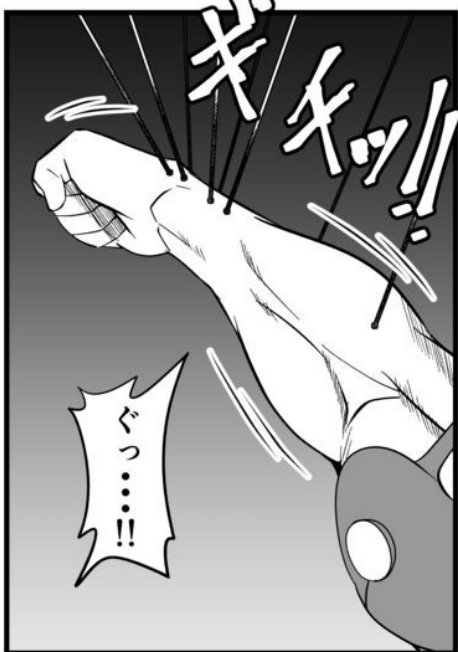














どうだ  
なかなか  
良い格好だろう？

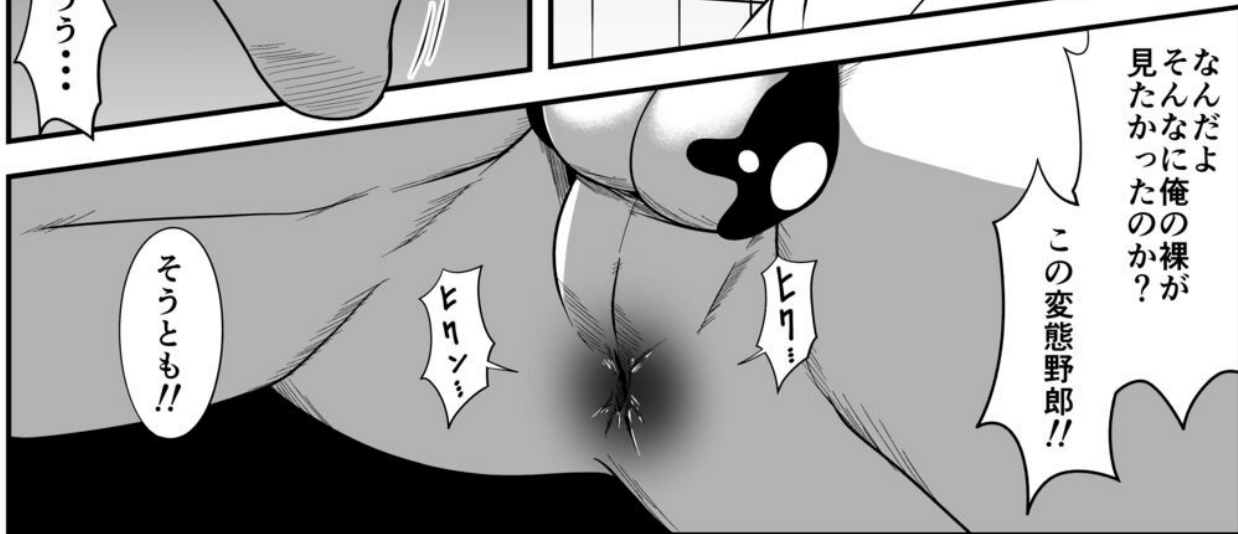
ぐっ!!

ん!!



ケツの穴まで  
ばっちり  
見えてるぞ？

ぬうう...



なんだよ  
そんなに俺の裸が  
見たかったのか？

この変態野郎!!

ヒッ!!

ヒッ!!

そうとも!!



てめえ...

ふふふ...

もみ...

もみ...

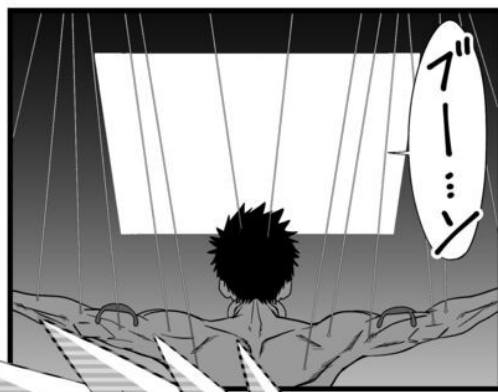
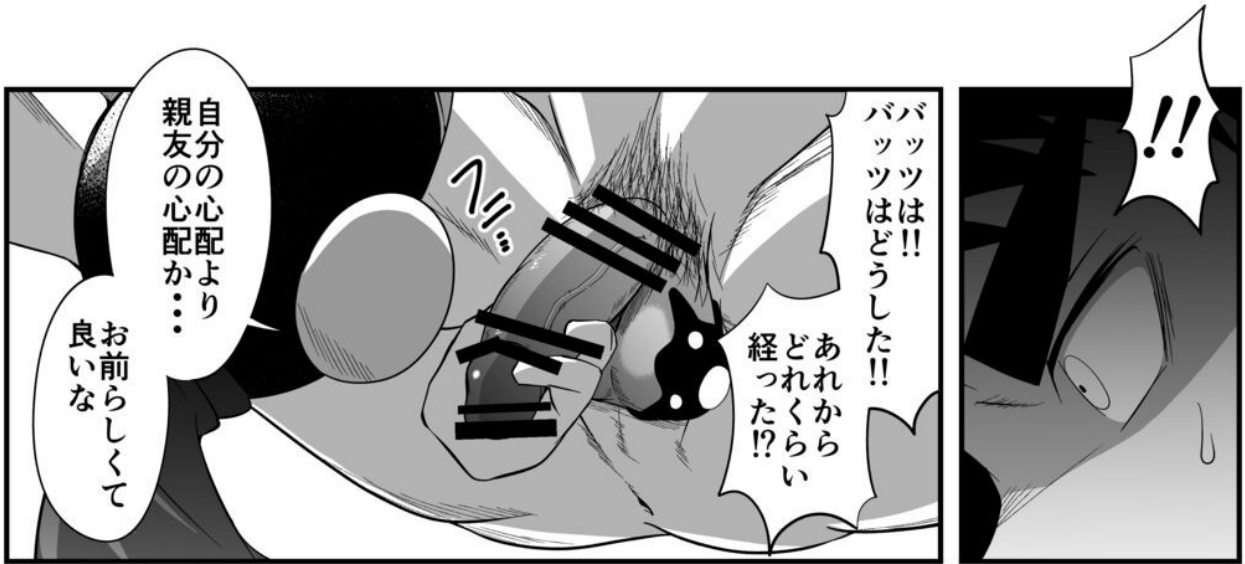


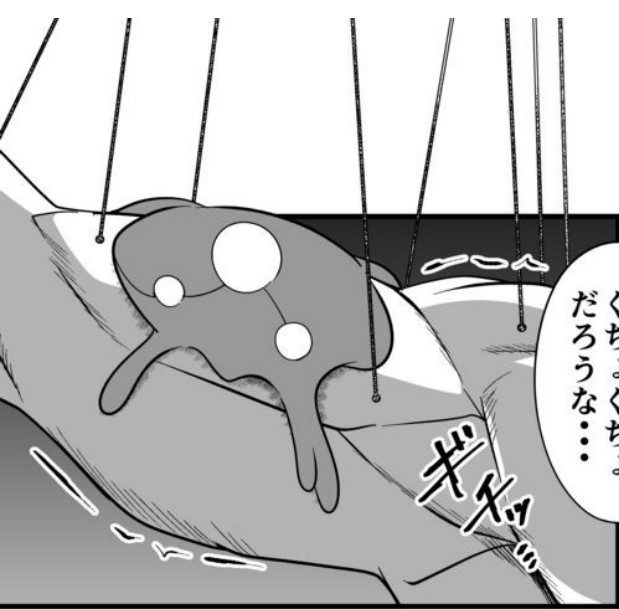
お前の  
肉体美

私にとっては  
一番の目の保養さ

ぐく...

もみ...





胴着の中は  
ぐちょぐちょよ  
だろうな...

じわ...



かれこれ  
一時間ほどか...

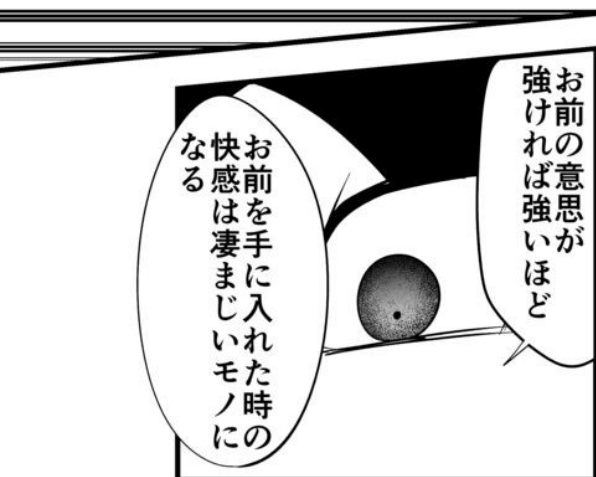
ずっと  
ちんこを  
弄って...



貴様の  
息の根だけは  
俺が絶対  
止めてやる!!



くそが...



お前を手に入れた時の  
快感は凄まじいモノ  
なる

お前の意思が  
強ければ強いほど

その瞳で  
私をもっと見ろ!

いいぞクウマ  
その意思がこもった  
力強い瞳...



この私に  
絶対服従の  
侵略兵器

ヌードソルジャー  
その栄誉ある  
一号機になる



手に入れる？  
何言ってるんだ!!  
ああ...まだ  
言ってなかったな



喜ベクウマ  
お前は  
選ばれたのさ



その力で  
この地球を支配する  
それが私の目的さ

彼らを手に入れ  
最強の侵略部隊を  
作り



この地球には  
お前のように  
強い男が  
たくさんいる

服従？  
侵略兵器？



お前は最初の侵略兵器になるんだ

初めて見た時は私抜かれた

この地球を  
守っていた男たちが  
裸にされた私のために  
闘う兵器になる……

最高だと思わないか？



お前たちの意思は強靭だ  
そこで  
これさ！

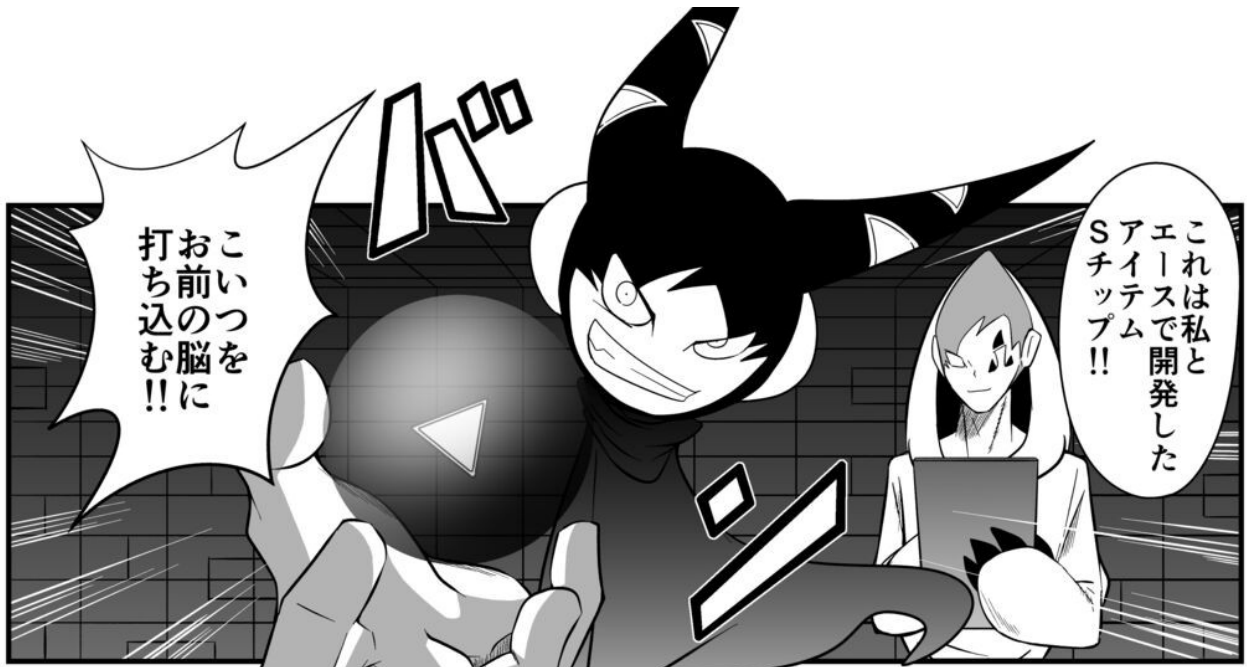


バツが奴が消耗したからだ

ふふ……  
だからんだ



俺にも催眠かけようってんだな！！  
俺はお前なんかには  
操られねえぞ！！



こいつを  
お前の脳に  
打ち込む!!

これは私と  
エイズで開発した  
アイテム  
Sチップ!!



いかに  
強靱な精神を  
持っていたとしても

そのチップは  
脳を完全に  
支配する装置です

それさえ打ち込めば  
貴方をセンノ様の  
命令通りに動く  
操り人形にすることが  
出来るのです



なんだよ  
そんなおもちゃで  
何すんだ!!

エイズ  
説明を

はい!



優れた  
武道家でも

脳を鍛えるのは  
地球人にはまだ  
無理です



貴方の意思は  
完全に消える...

クウマ...  
貴方は  
生まれ変わるのでしょ



さあ  
手術開始だ!!



そういうことだ  
クウマ



何も思わない  
何も感じない  
ただの人形に  
なってしまうお前の姿が

楽しみだ  
今は敵意むき出しの  
その瞳から意思が消え



こんな奴らの  
手先になんて  
なつてたまるか!!

冗談じゃねえ!!



拘束さえ  
とければ...

何とか...



この瞬間を  
待っていたぞ!!

お前にチップを  
埋め込む  
この瞬間をな!!





勇ましいな!!

うぐっ...



こんなもん...  
何とも...

どうだ  
苦しいか  
クウマ!!



今のお前の  
表情...  
堪らんなあ!!

あうう...



ふふふ...  
入って行く!!

針が  
入って行くのを  
感じるだろうか?

はっ...

があっ...



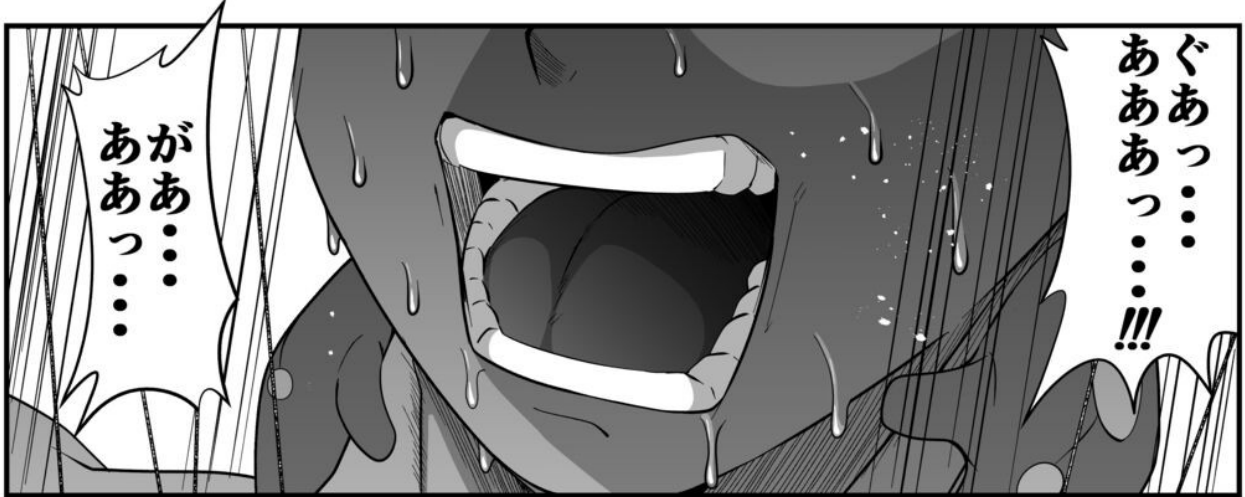
この...  
やろ...う...



がああ...  
がああ...



さあ...  
受け...入れろ!!





ぐっ…  
ううっ…

良く  
似合っているぞ  
クウマ

ああ…



残念だったな  
変態野郎…  
てめえの発明は  
失敗だ!!

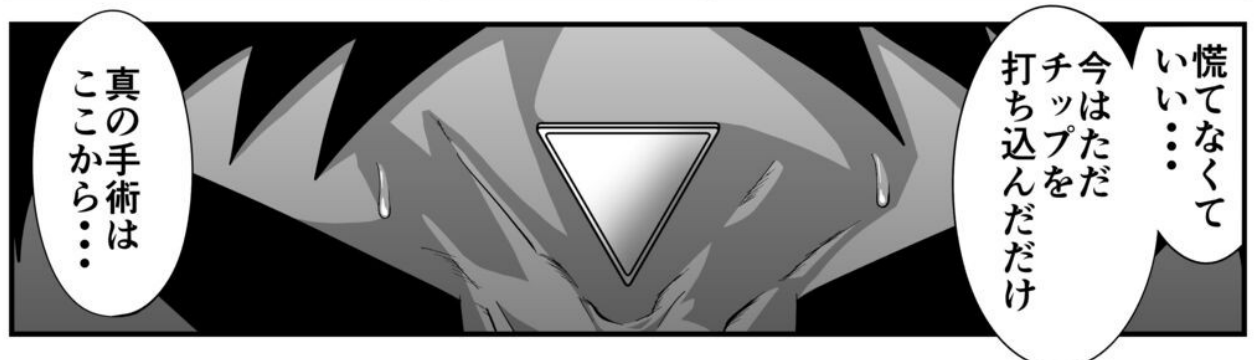


なんだよ…  
たいそうな事  
言ってたわりには…  
なんともねえな…  
んん?



見てみるか?  
ほら!

く…  
うう…



慌てなくて  
いい…  
今はただ  
チップを  
打ち込んだだけ

真の手術は  
ここから…





他の戦士の  
捕獲も容易い!!

お前さえ  
手に入れば



くあつ...  
ああ...

いくらお前でも  
こうなれば  
どうすることも  
出来まい

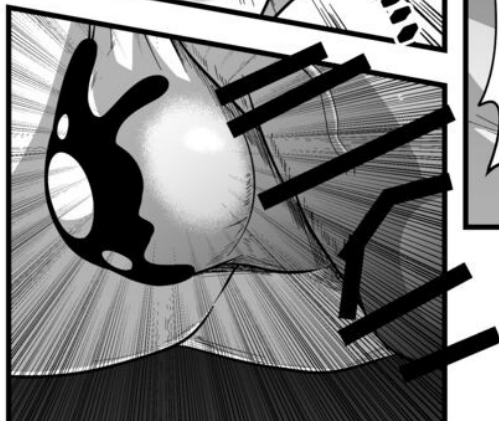
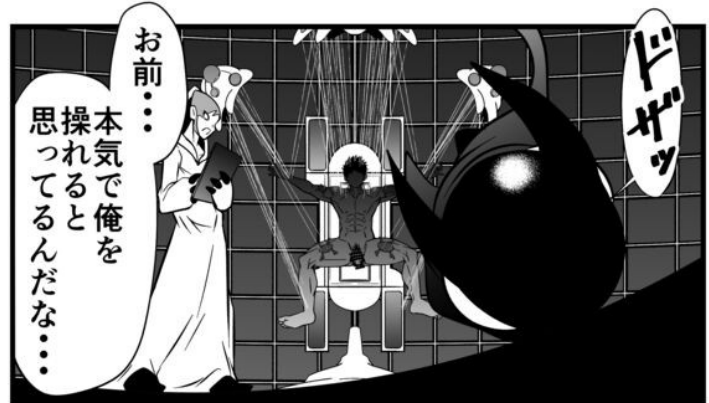


頼りにして  
いるぞクウマ

共にこの地球を  
支配するんだ

あうつ...  
うう...

んんっ!!



ふぎっ!!

ドドド!!

やはり  
簡単には  
いかないな

だが安心しろ  
その強靱な精神を  
折るためのプランは

ちゃんと  
用意して  
あるのさ!!

があっ...  
ぐあああああ...  
があっ...  
ぐあああああ...

チップを  
埋め込んでも

精神を折らねば  
お前は手に入らない  
ということ!!

ぐらう...  
ぐらう...

ふっ!!

ぐふっ...!!

グッ!!





俺を殺したなら  
意味ねえだろ…

考えて  
攻撃しやがれ  
変態野郎…



流石のお前も  
ソコをやられたら  
悶えるんだな

かはっ…



てめえ…  
金玉  
潰す気か…

はあ  
はあ



ふふ…  
随分  
縮こまって  
しまったな

これはこれで  
情けなくて  
良いが…  
お前の精神を  
折るためにはまず  
真の姿になつてもらわねば…



エース  
頼む!

はっ!

フニ…

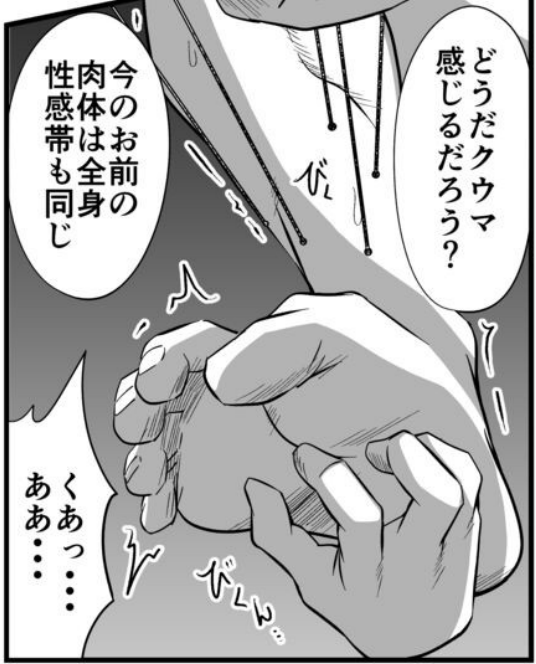


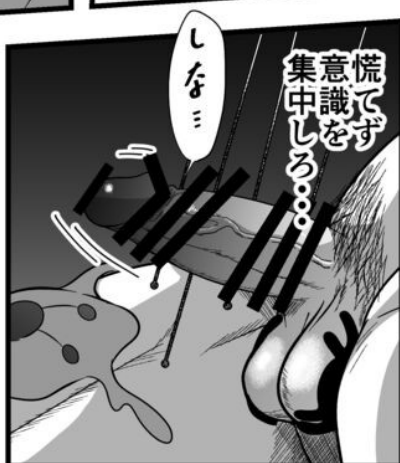
お前の苦しむ  
姿があまりにも  
良すぎて

ついな

フニ…





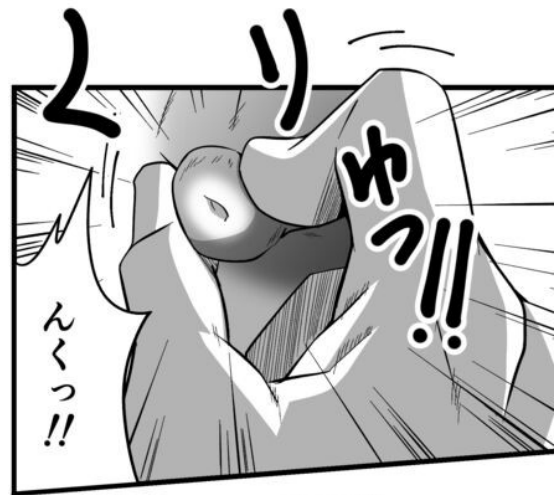




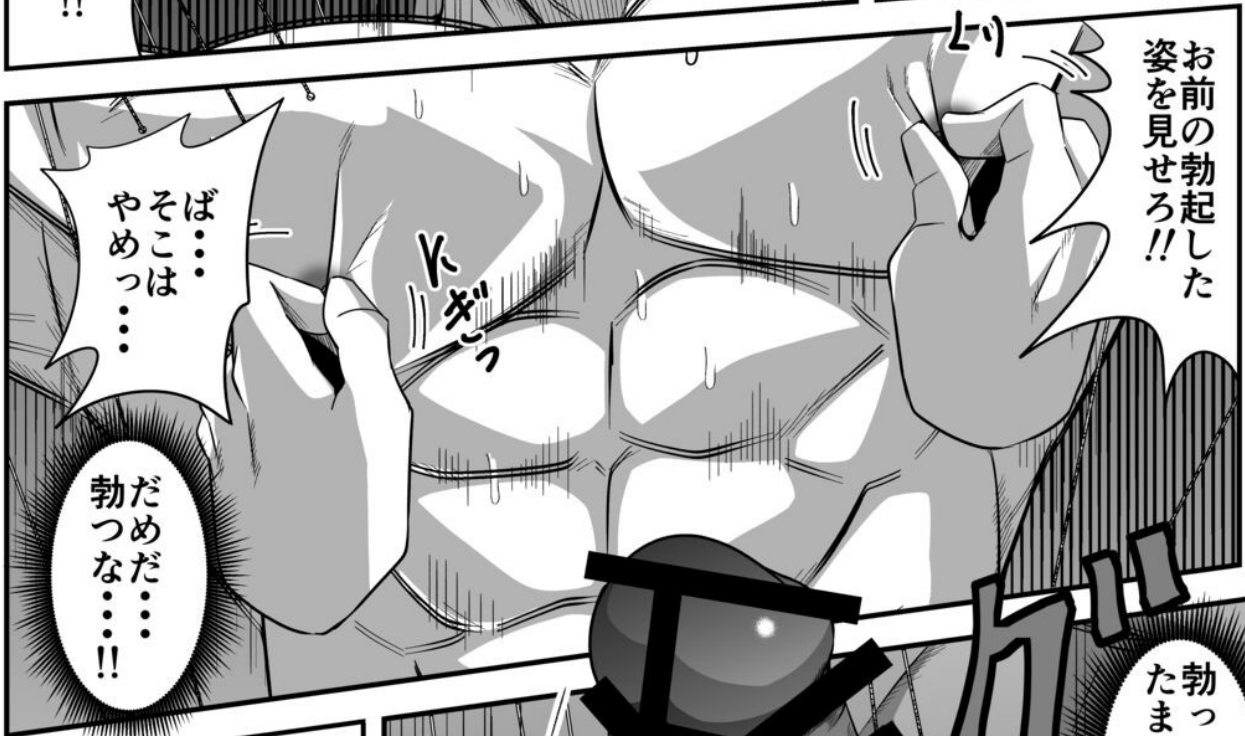
勃てクウマ!!

くあっ……!!!

くあっ……



んくっ!!



お前の勃起した姿を見せろ!!

そば……  
やめっ……

だめだ……  
勃つな……!!



おおっ!?



おおお……!!



勃ってたまるかよ……



バキバキに  
浮かび上がる  
血管

より赤みを  
増した亀頭

これがクウマの  
勃起姿…  
何という迫力!!



はは…  
はは…  
勃ったは…

見たかエース  
一気に  
勃ったぞ…



やはり乳首は  
良かったか!!

はあ…  
はあ…

そく…  
そく…



どんな気分だ?  
勃起姿を  
見られるというのは

んんんっ…



ふふふ  
勃ってしまったなあ

んっ…  
んあっ!!



じわミ

グアッ

気持ちがおさまらねえ...

エース やってくれ

せいノ様

ドクッ



うはっ...

くそ... 頭が... ボヤつく...

これでお前の精神を折る準備は整った

ギョッ



お前にとってはお前3日ぶりの時間だ

勃ったならその後する事はたつた一つ!

!



何を...

分かっているだろう?

ドクッ

ドクッ



金玉に取りつけた装置は

キイイイ...

一味違うぞ

イイイ...



今まで感じたことが  
ないくらい  
良いだろう？

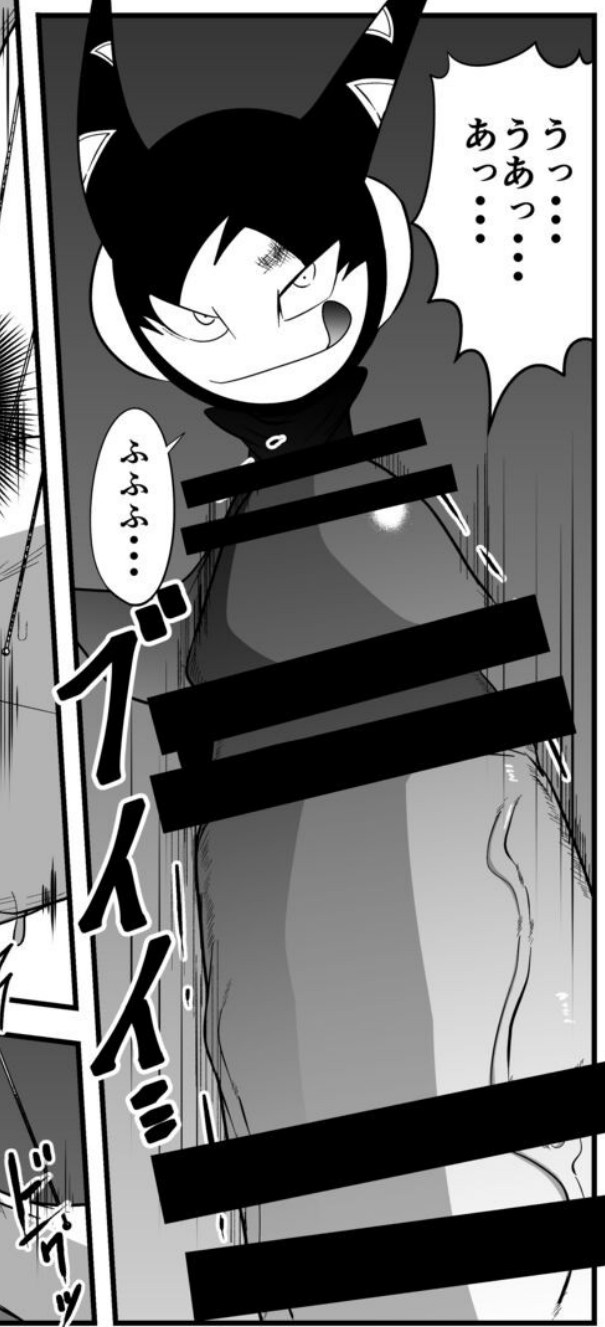
睾丸を愛撫し  
ちんこの感度を  
極限まで  
高めてくれる

今…  
イカされたら…

やばい…  
やばい…

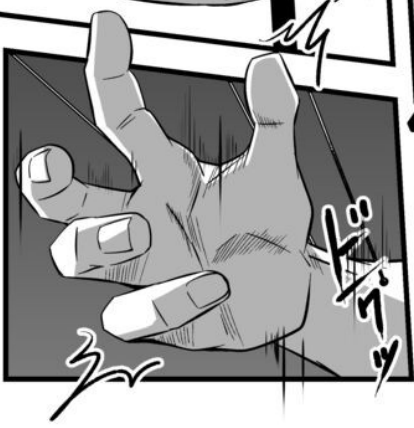


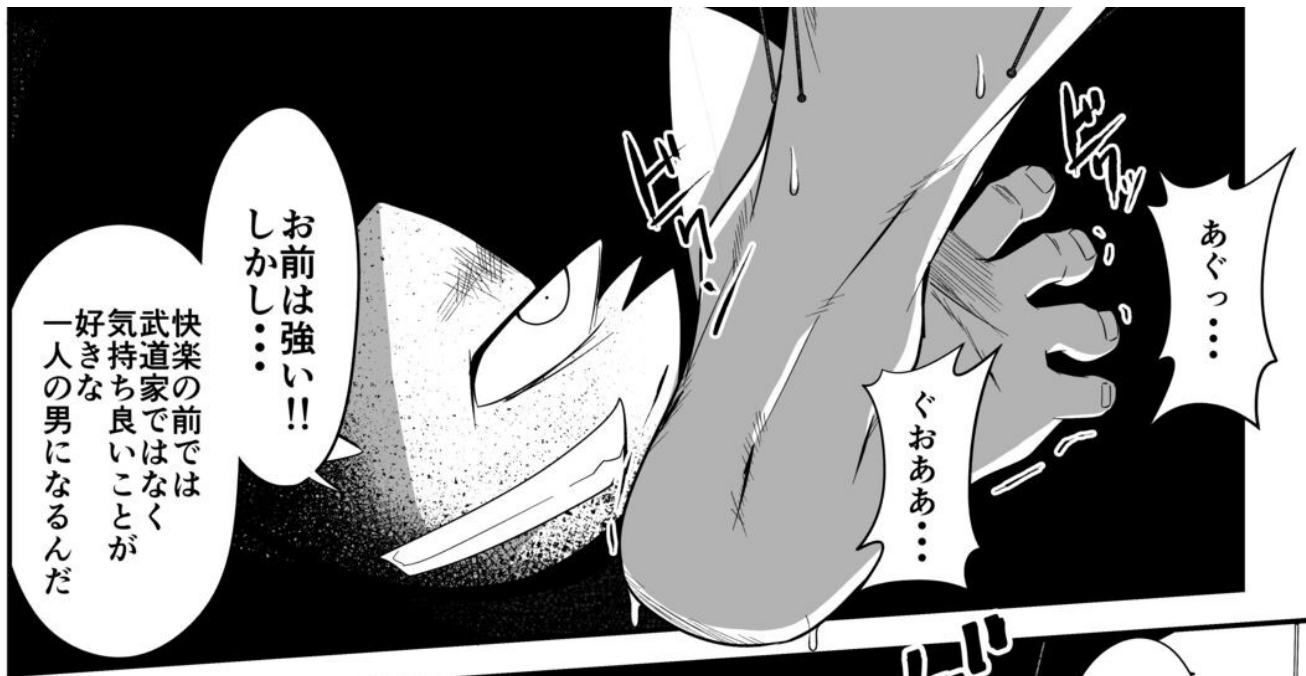
ううっ…



うっ…  
うっ…  
あっ…

ふふふ…





あぐっ…

ぐおああ…

お前は強い!!  
しかし…

快樂の前では  
武道家ではなく  
気持ち良いことが  
好きな  
一人の男になるんだ



そうならば  
チップの支配に  
抗う術は無い:



今の状態で  
射精をすれば

いかにお前でも  
肉体も精神も  
快樂に溺れる

うっ…  
んくっ…



ヌードソルジャー  
一号機に!!

極上の射精を  
しながら  
お前は生まれ変わるんだ!!



お前を墜とす  
方法をずっと  
考えてきた

ガッ

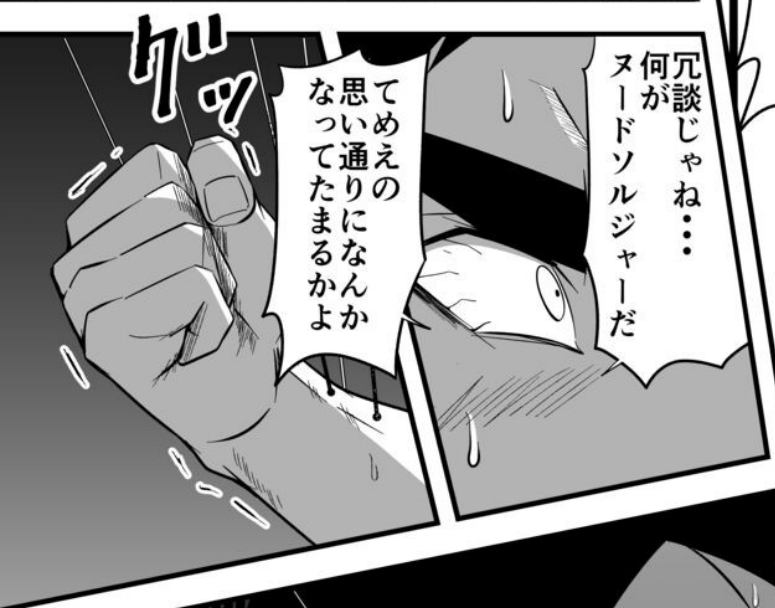


さあイケッ!!  
遠慮はいらないぞ!!

お前がイク姿を  
見せろ!!

んんっ...!!

金玉にある  
精液を全て  
ぶちまけろ!!



てめえの  
思い通りになんか  
なつてたまるかよ

冗談じゃね...  
何が  
ヌードソルジャーだ



いいぞ

耐えれば耐えるほど  
イッた時の快感は  
より凄まじいもの  
になる

限界まで  
耐えてから  
イクがいい!



ギュー  
グミ  
グミ

絶対……  
イカねえぞ……

こんなやつに  
おれは……

ギュー  
グミ  
グミ



あぁ……

うっ……

ん……あぁ……



うぐっ!!

ぐあぁ……

おお!  
亀頭が!  
膨れ上がってきた!!

イクのか?  
イッてしまうのか!?



イッて  
たまるか……

負けるかよ……

ギョ  
ギョ



うっ!!!

うおおっ!!



はっ...

はっ...

はっ...

こいつも  
イッていたのか

意識... 飛ぶ...



おおっ!!  
イッたぞ!!

あっ...

これ...  
やばい...



クウマが  
イッてる!  
私の目の前で!

す...  
素晴らし  
過ぎる!!

はっ...



おおおっ!!

ダメだ...  
しっ...  
ろ...

脳支配率  
急激に上昇して  
いぎます!



ブブブッ

セノ様!



うろっ...

ん...

凄く気持ち良さそうに  
イッていたなあ...  
んん?



ようやく  
出し切ったか

しかと見たぞ  
お前のイク姿を

3日溜めただけ  
あつて  
凄まじい量だったな



ふうー

ふうー

やめ...

イキたての  
亀頭は一段と  
良いんだらう?



グ

それでお  
3日ぶりの  
快楽に  
耐えるとは……

ぷるん

極限まで感度が  
高まった肉体と  
精神……

正直一発で  
いけるかと  
思っていたが

しかしお前には  
驚かされる

ドゥンッ

ドゥンッ

イカせるさ  
お前を手に入れるまで  
何度だってな……

変態野郎……

アッ

アッ

余裕ぶってるが……  
どうすんだ？

んん？

クキッ……

あがっ……  
あがっ……

リラッククスだ  
クウマ

クキッ

スス……

おい……  
おい……

グッ

グッ

グッ



んんっ…

ここはどうだ？



何も考えず  
ただ感じればよい

今のお前の  
肉体ならすぐに  
受け入れるさ



発射準備  
完了だな  
クウマ



んあ…

グッグッ

おお！  
さっきあれだけ出した  
のにもう元気に  
なってきた…

肉体は  
正直なものだ



あ…

グッグッ



お前はよく  
闘った

ああ...

くう...

お前という  
存在は私  
が正しく  
使ってやる  
だから  
安心して  
眠るといい

フルツ

天

ブルツ



バツツのためにも...  
負けるわけには  
いかねえ...



負けて  
たまるか...

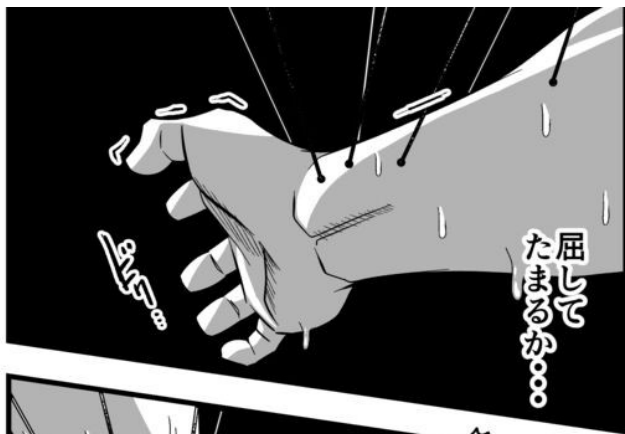
グイ...

ググ...



フルツ...

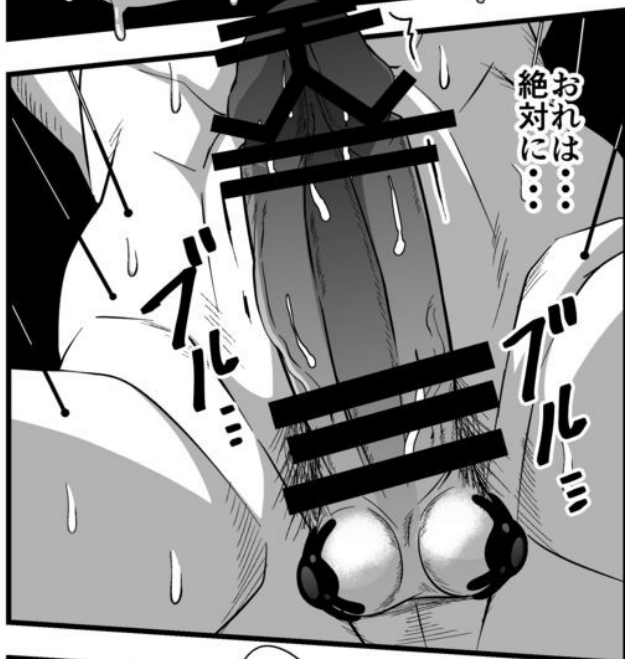
くそ...



屈して  
たまるか……



おれには  
絶対な  
負けな



おれは……  
絶対に……

ブル……  
ブル……



こんな変態野郎に  
操られて  
たまるか……



負けな……

あっ……!!!

イツ……



おおおっ!!

くああ……



センノ様

ビィッ  
ビィッ



脳支配率……

100%に  
到達します!!

あっ

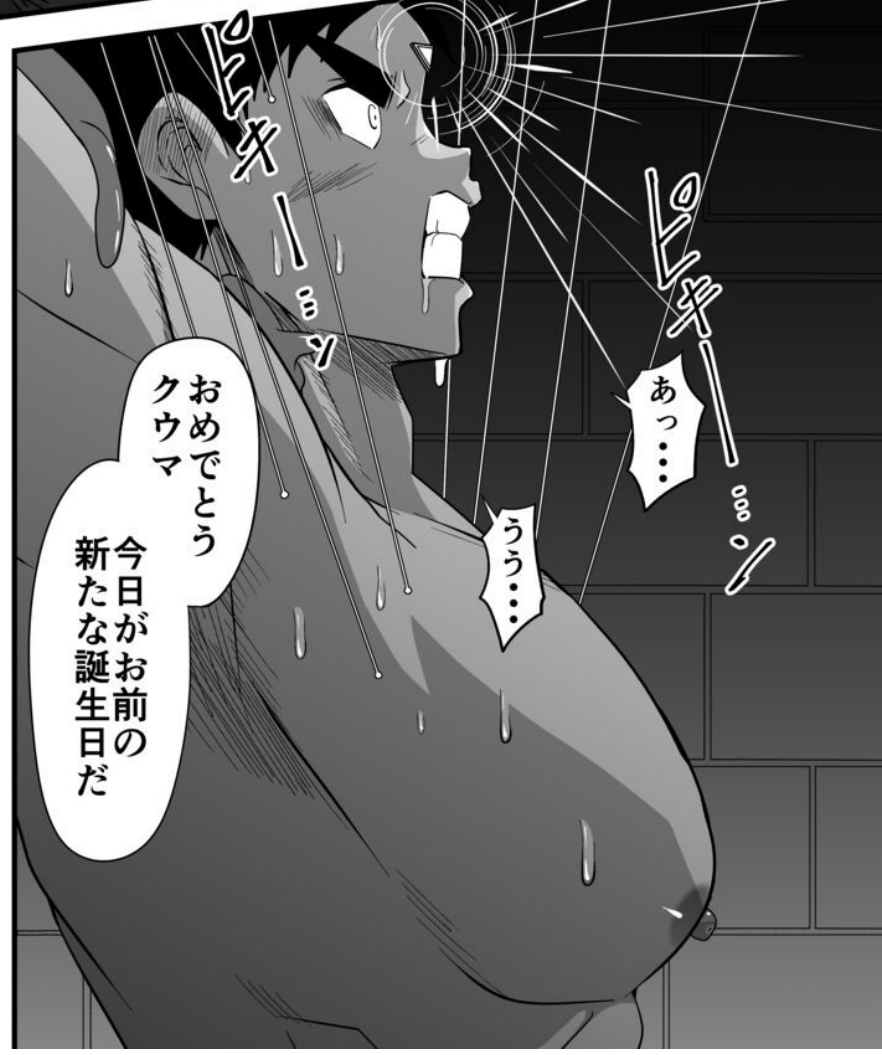
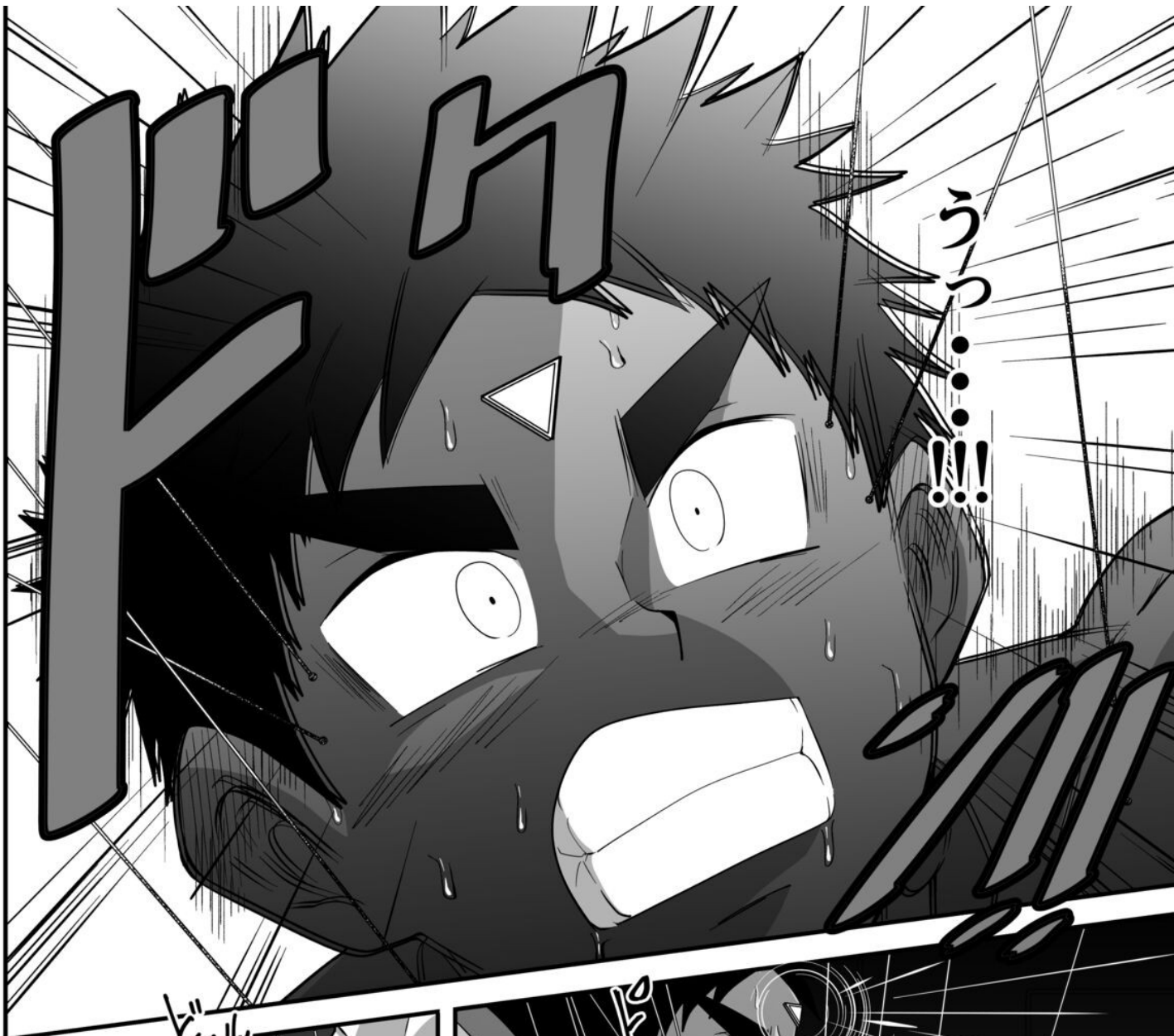
んっ



イクツ……!!!

うあっ……

ああっ……  
あああっ……!!!





す倒  
...

絶対  
おれが  
...



ついに  
完璧に  
折るこ  
ことは  
出来な  
かった  
な

本当に  
大した  
男だ

ドク...



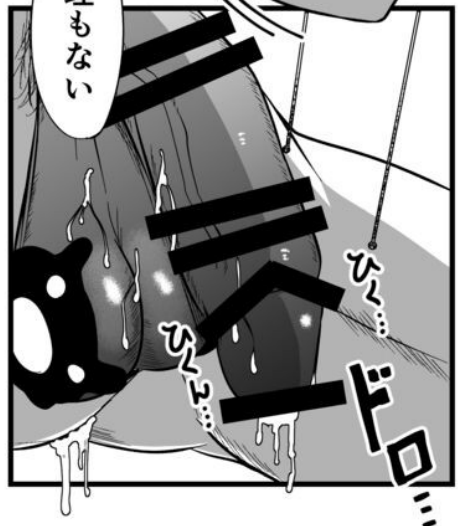
気を失  
って  
しまっ  
たか...

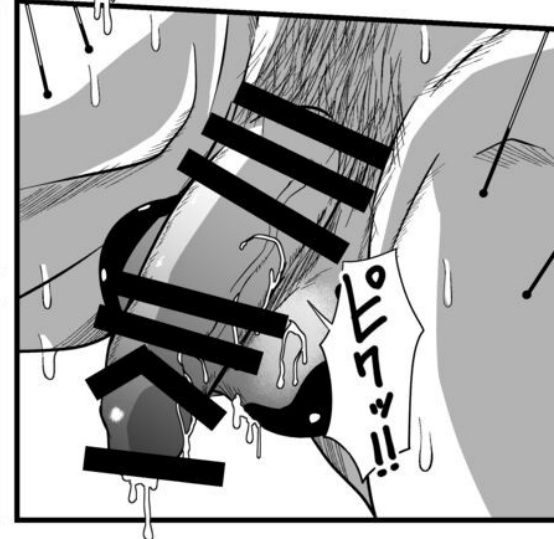
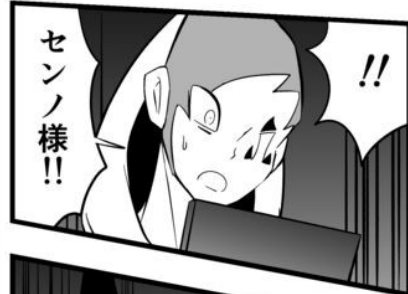
無理  
もな  
い



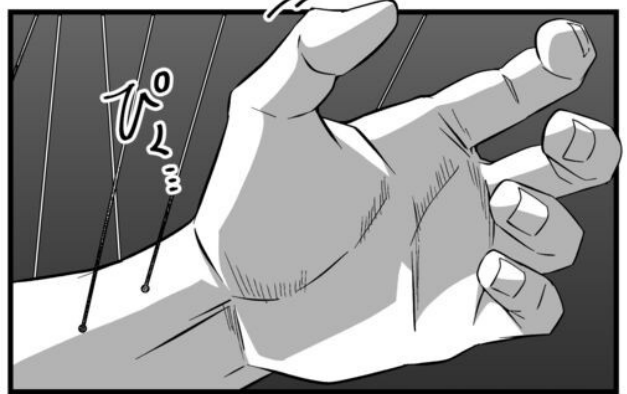
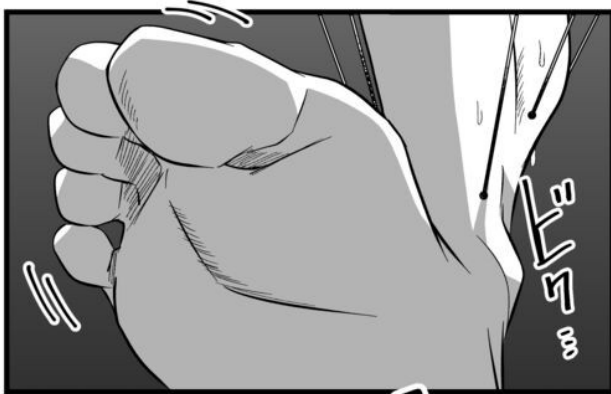
脳か  
配率  
に  
は  
100%  
な  
って  
いる

な  
って  
い  
る  
が...









ゴゴゴ...



クウマを...  
クウマを手中に  
おさめた...!!

ああ! やった!  
手に入れたぞ...

はい!  
ついにやりましたね  
センノ様!

き...聞いたか  
エース!  
今の言葉を!!

クウマの拘束を  
解いてくれ!!

はい  
センノ様!

...

ほろ...

ずる...

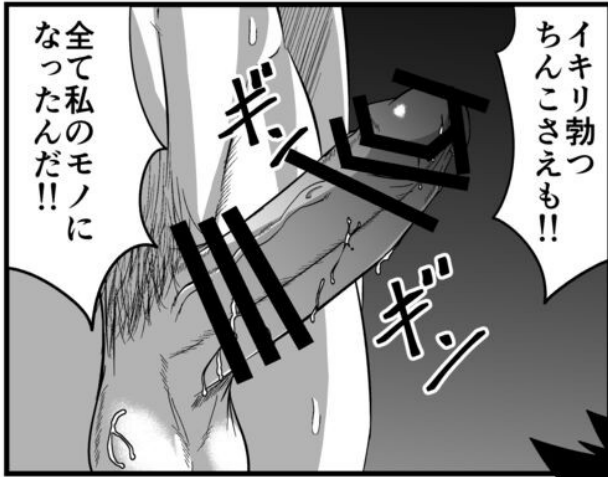
ほろ...





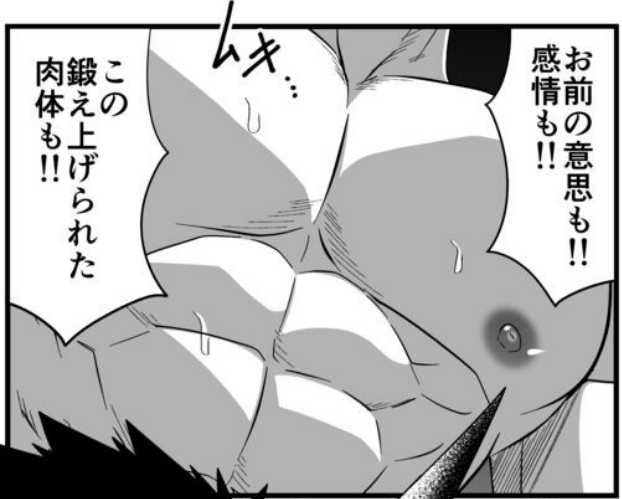
真紅に染まったその瞳……





全て私のモノに  
なったんだ!!

イキリ勃つ  
ちんこさえも!!



この  
鍛え上げられた  
肉体も!!

お前の意思も!!  
感情も!!





お前にとっても  
初めての体験に  
なるだろう



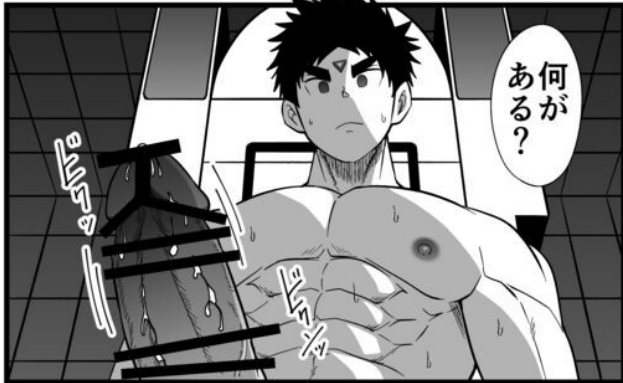
以前から  
一号機に与える  
最初の命令は  
決めてあると  
言っていましたか？

ああ！



素晴らしい  
命令をな

起動テストに  
相応しい



何が  
ある？



足元を見る  
クウマ

ピピピッ

はい  
センノ様



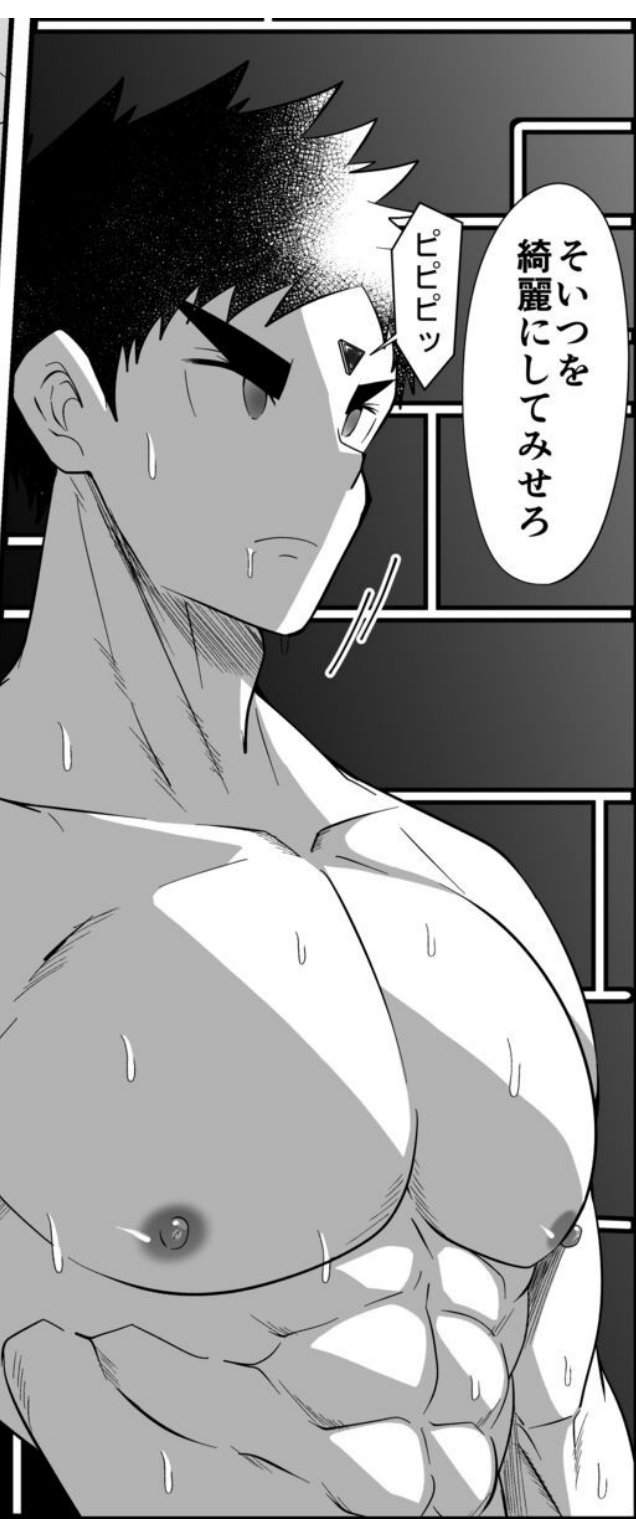
俺の精液です  
センノ様

そう！  
お前が出した  
大量の精液だ  
辺り一面に  
飛び散っている  
だろう



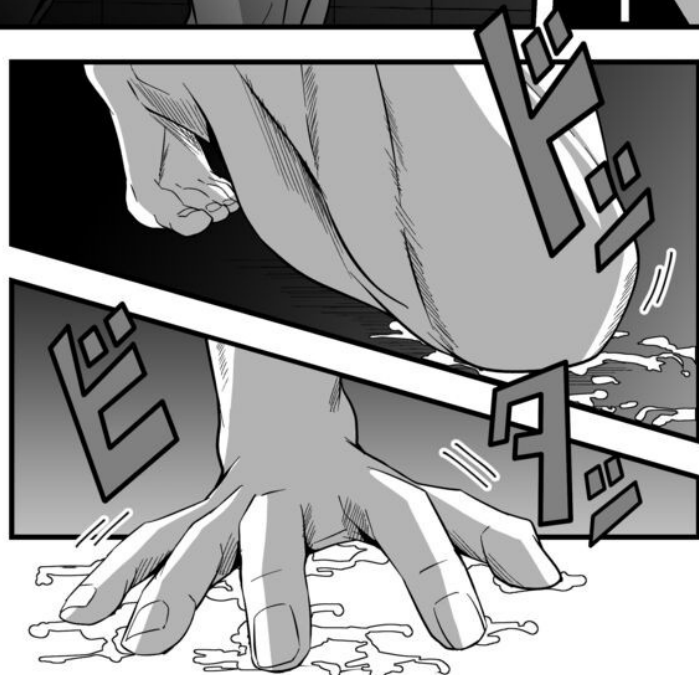
どうすればいいか分かるな?

セインノ様



そいつを綺麗にしてみせろ

ゴゴゴ



よし! 始めろ!

わかりました

ぐぐ



ええ!  
先ほどまでの  
クウマはもう  
いません

見ろエース...  
あのクウマが  
私の命令通りに  
動いている...

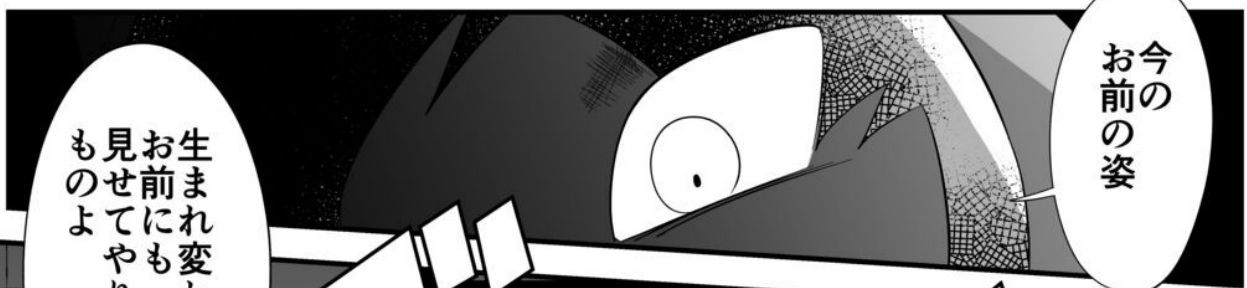


今や絶対服従の操り人形というわけだ

こんな風にお前を思いのままに動かす時を待っていただけのことか...

ゴキョッ

ゴキョッ



今のお前の姿

生まれ変わる前のお前にも見せてやりたいものよ



ゴ

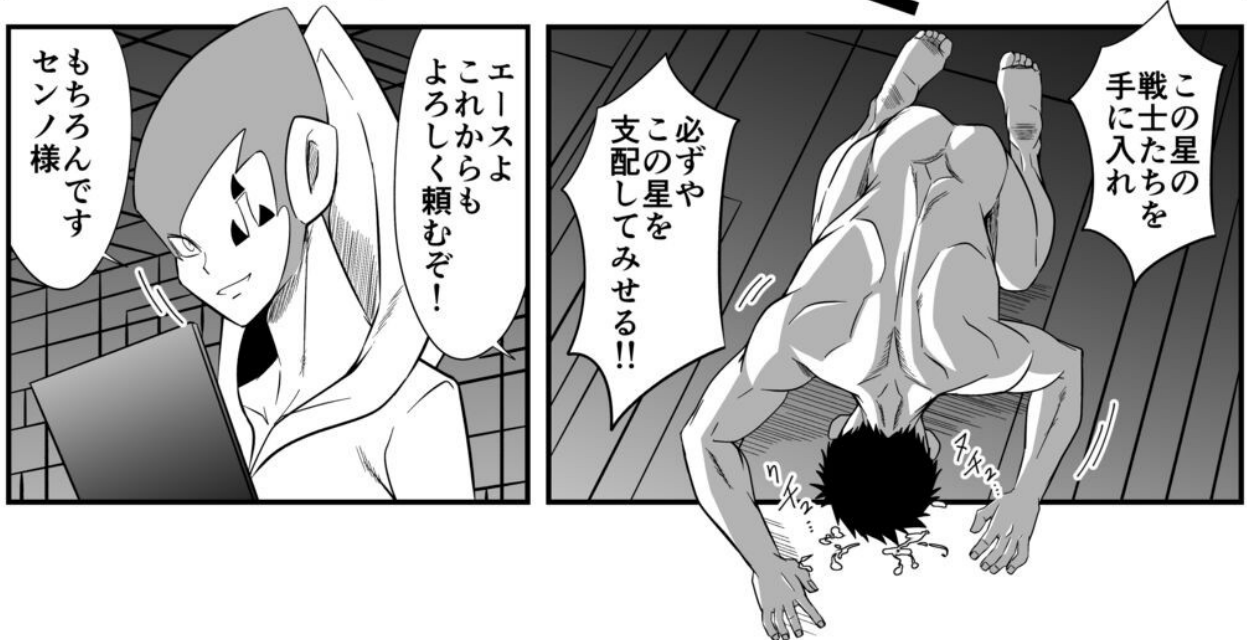
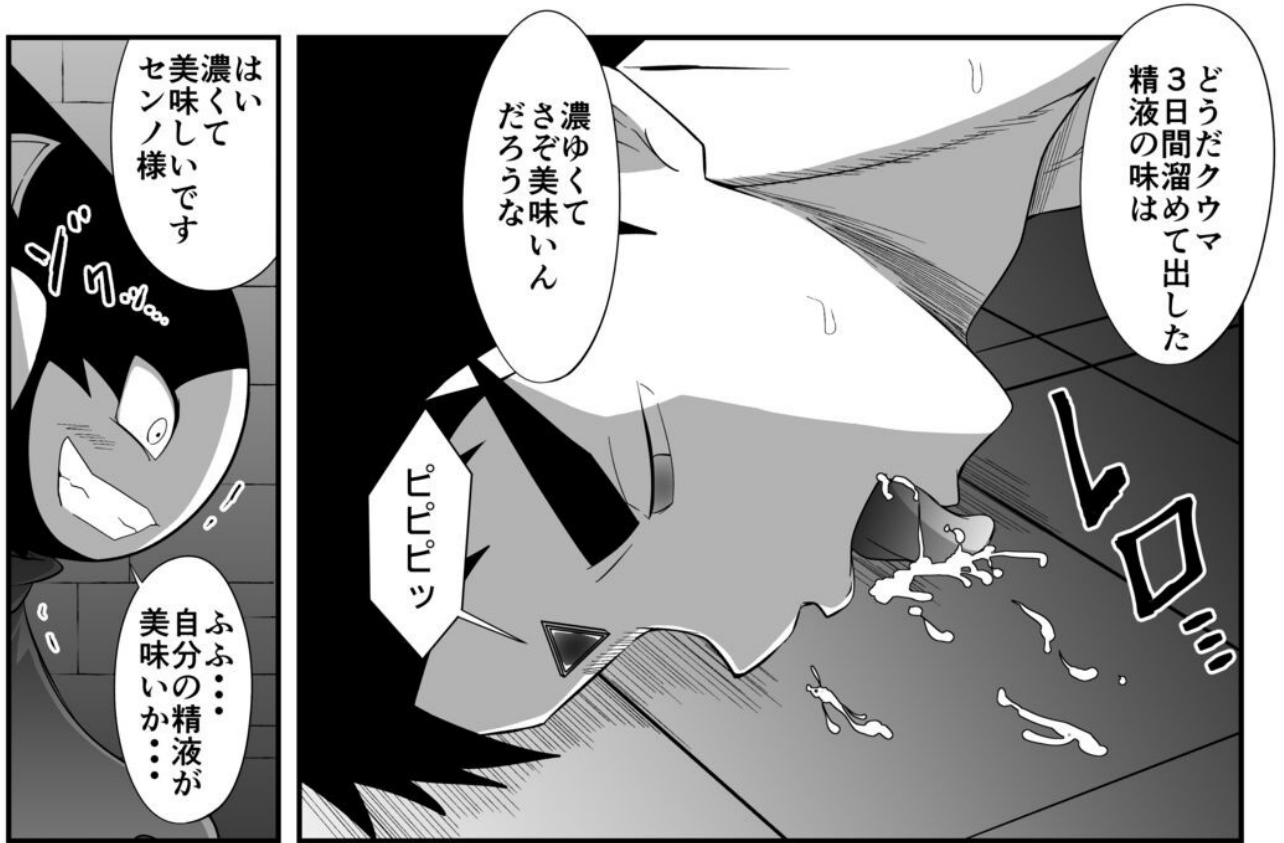
ゴ

ゴ

ゴ

たろ...

たろ...







セはい  
ンノ  
様

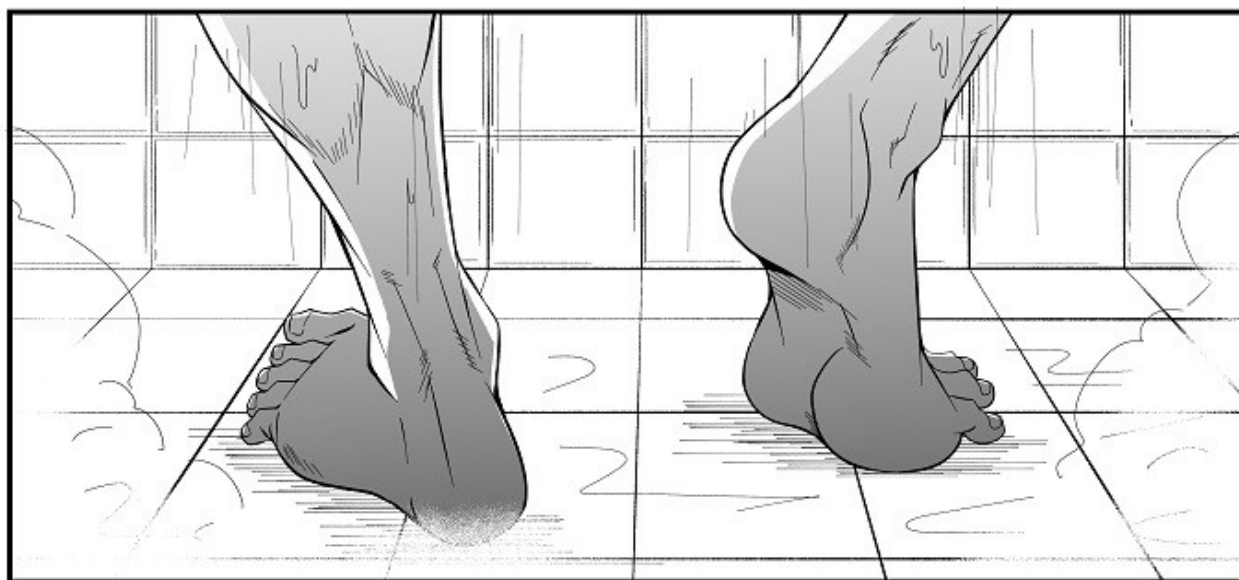
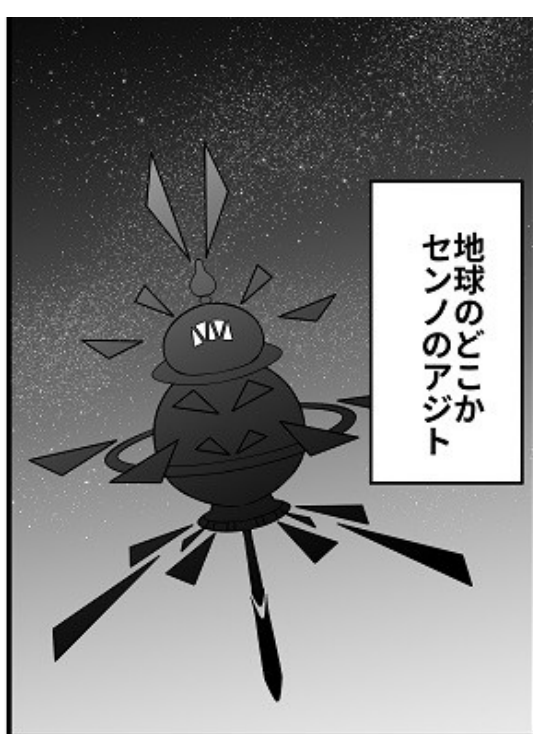
ヒッ。ヒッ。ヒッ。

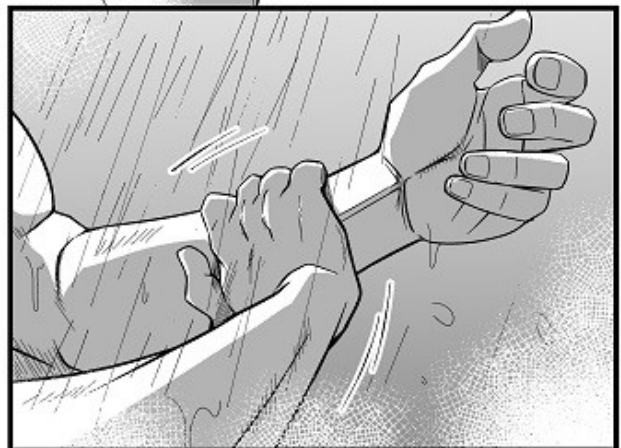
しばらくは  
楽しませて  
もらおうぞ  
クウマ

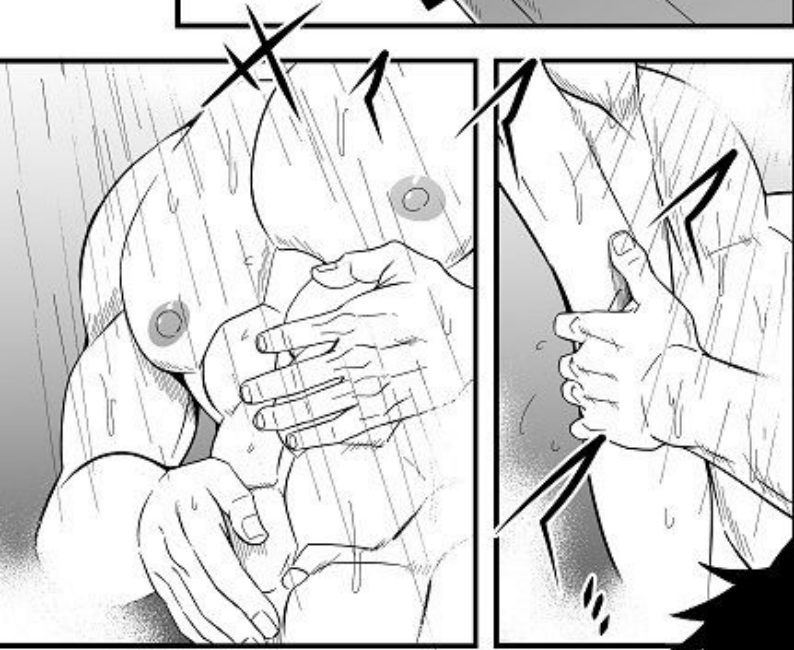
ヒッ。ヒッ。ヒッ。

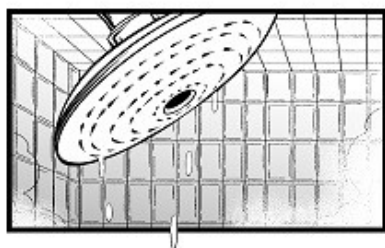
どうぞ…ご命令を…

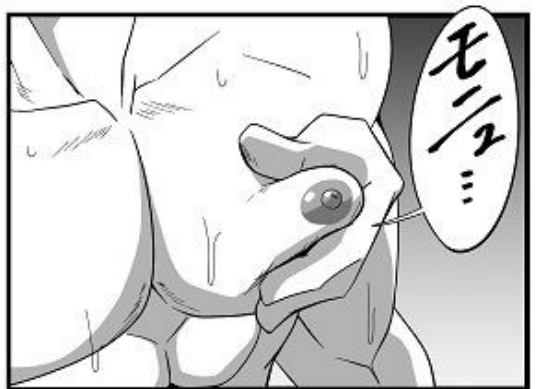
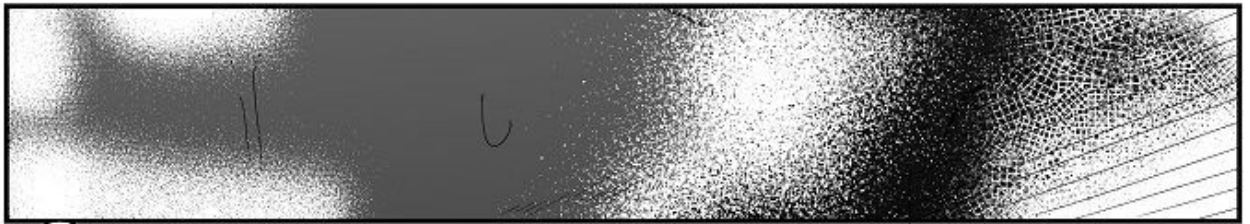














んんん…  
水をはじく  
この肉体

洗いたての  
クウマの匂い…  
うっとりするな

安心したかな？  
クウマ

あっ

んっ

もみ

もみ



お前の意思は  
消えたが  
お前はしっかりと  
生きている

常に最高の状態で  
いられるように  
してやるからな



こうして  
シャワーを  
浴びることは  
もちろん

食事だって  
トイレだって  
お前が出来ていた  
ことは問題なく  
やらせられる

えろっ…



お前を意思の無い  
人形にした上でな…

Sチップ  
我ながら  
素晴らしい発明さ





少し前

本当に来ないのか？  
エース

ええ……

やらねばならない  
事がたくさん  
あるので

また別の  
機会に

今回のクウマ捕獲作戦で  
我々は大きく  
動きました

警戒せねば  
なりません



バツツはまだ  
意識を取り戻して  
いませんが

地球防衛機構は  
もちろん  
我々の他に  
この星を狙う者たち

そういう者たちに  
我々の存在を  
知られるわけには  
いきませんからね

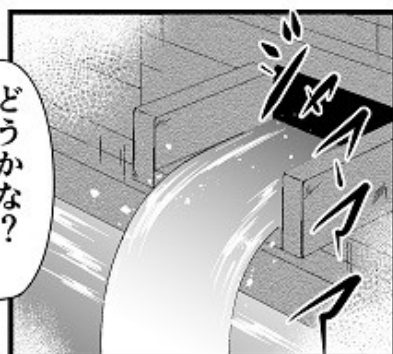
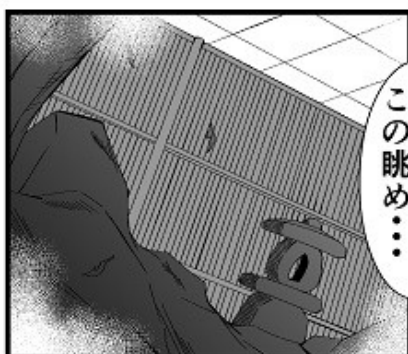
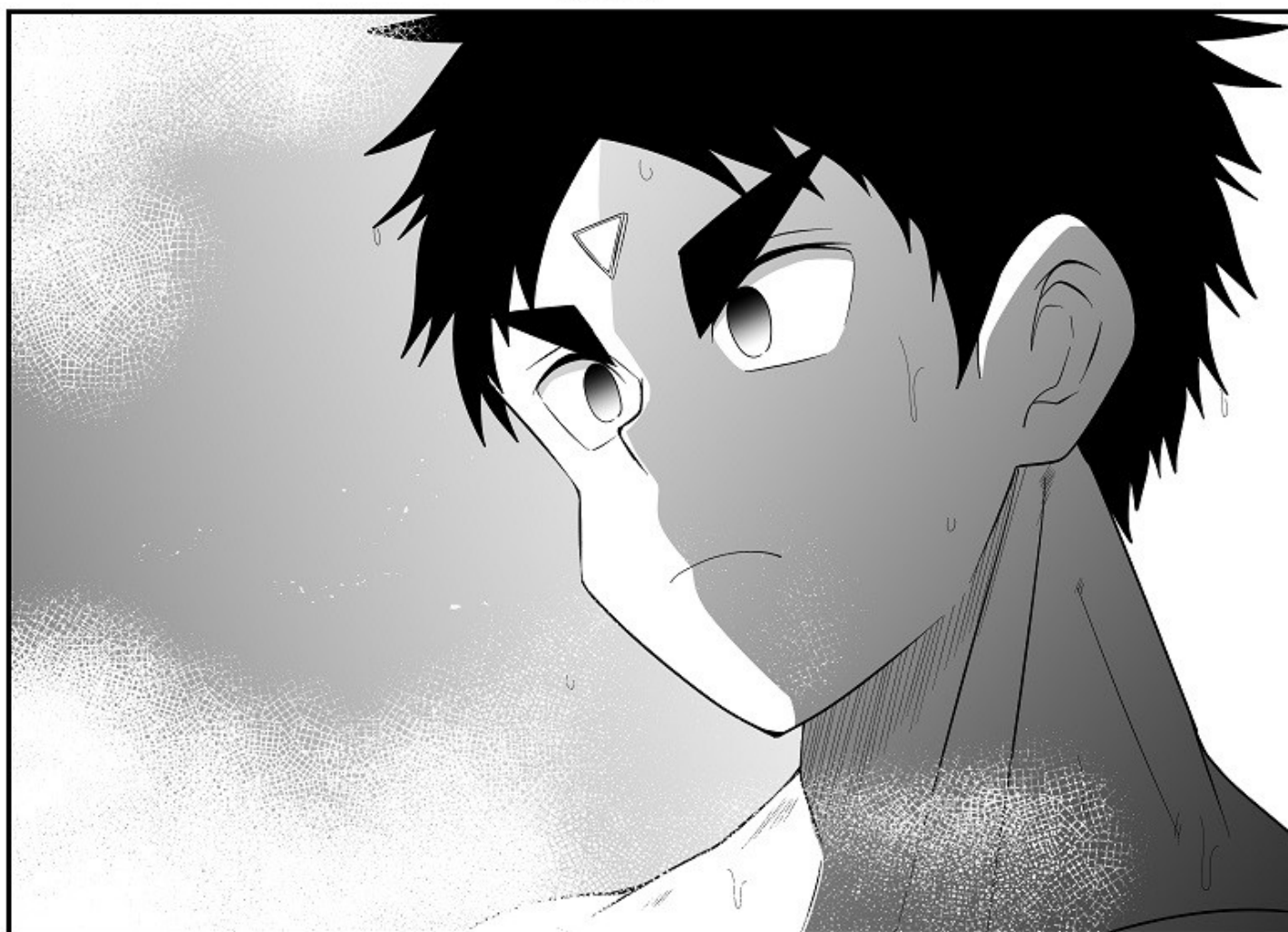
うむ

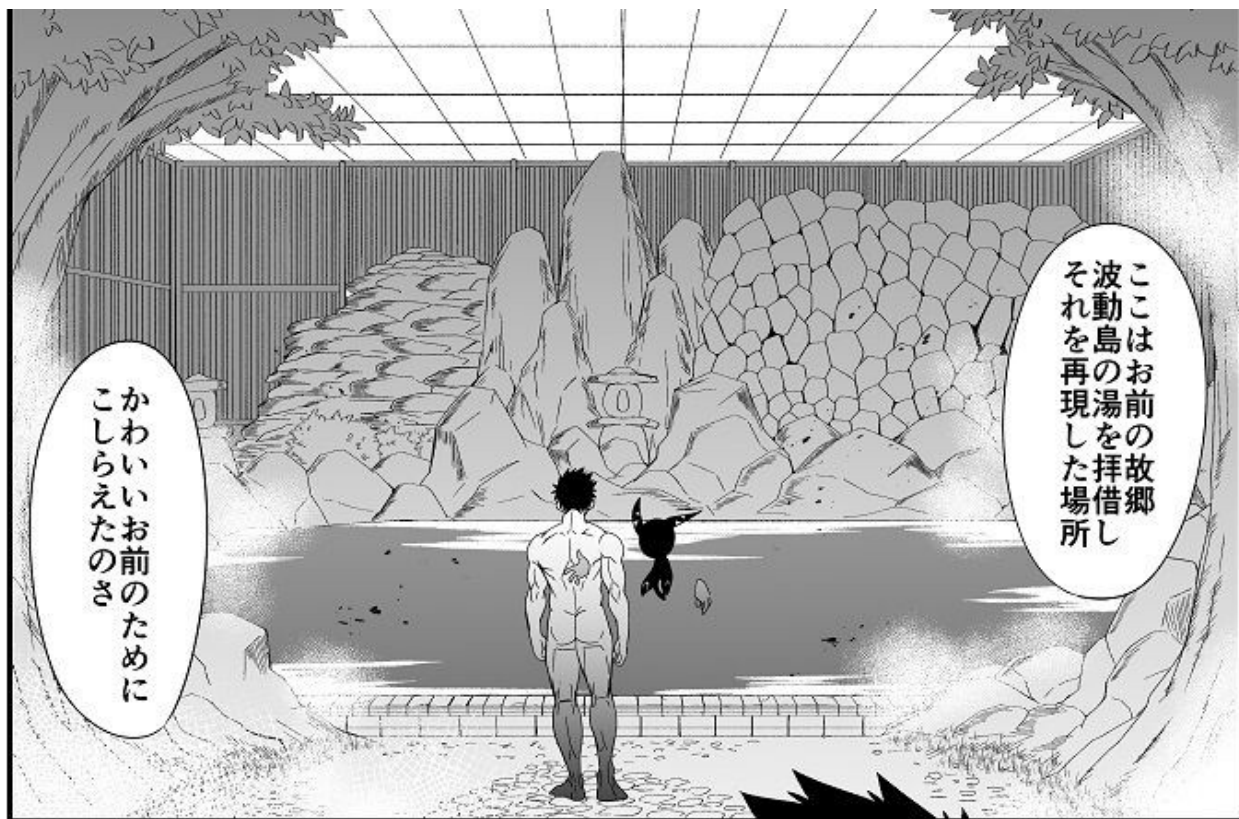
それに



ついに手に入れた  
一号機とセンノ様との  
ひと時を  
邪魔したくは  
ないのですよ







かわいとお前のために  
こしらえたのさ

ここはお前の故郷  
波動島の湯を拝借し  
それを再現した場所



おいで  
クウマ

ジュジュッ

せい  
ノ  
様



可哀想に……  
故郷の景色を  
前にしても  
今や何も思わないか

だが  
生まれ変わったも  
故郷の湯は  
からだ  
肉体には  
染みるはず

…



ん……  
生き返るなあ







セハ  
ンノ  
様

今のお前は  
私の思いのままに  
動く操り人形



その通り

キヤ  
アッ

昨日までのクウマは  
もういない



嬉しいねえ

んっ



生まれ変わった  
お前と共に  
入る風呂…

最高に  
気持ち良いぞ

はい  
俺も気持ち良いです  
センノ様



モ  
ニ  
ヤッ

お前の  
雄っばいは



んん…  
つい触って  
しまうな



ではもっと  
気持ちよく  
してもらおうかな

はい  
センノ様  
どうぞご命令を



どれほどの  
鍛錬を積んできたの  
だろうな



この素晴らしい  
触り心地



はい  
センノ様  
俺も楽しみです

これからどれだけ  
育っていか  
楽しみだ



クウマ  
ぎゅつと  
してくれ

はい  
センノ様  
わかりました







お前の肉体は  
敏感でよろしい



さて...  
だいが温まって  
きたな



クウマよ  
本当に  
気持ち良いのは  
ここからだぞ？



ふふ...  
ちんこを触られるのが  
気持ち良いか？

はい  
気持ち良いです  
センノ様

ゴッ

クリツ

クリツ



セは  
ンノ  
様

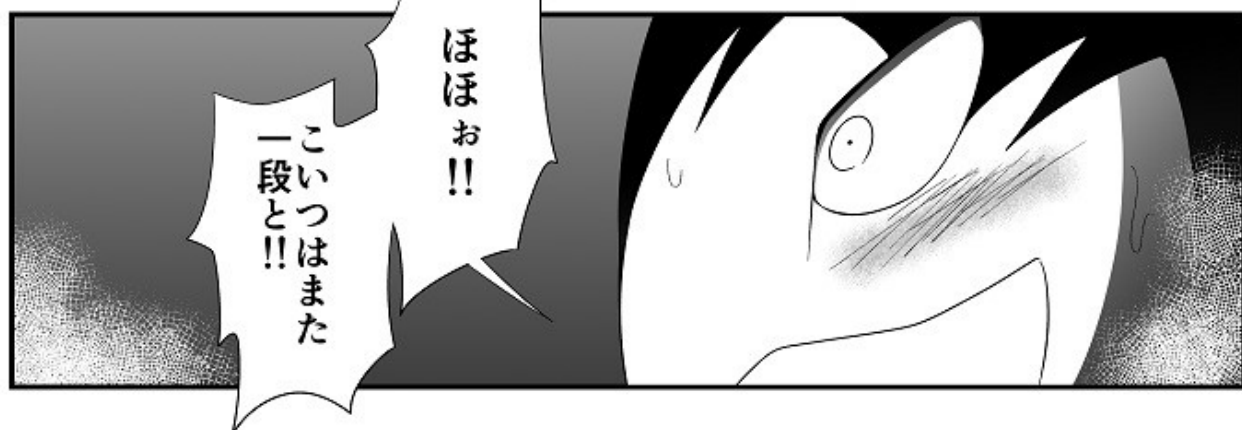
立て  
ク  
ウ  
マ



こうやって  
お前を思いのままに  
動かすたびに  
興奮してしまうよ



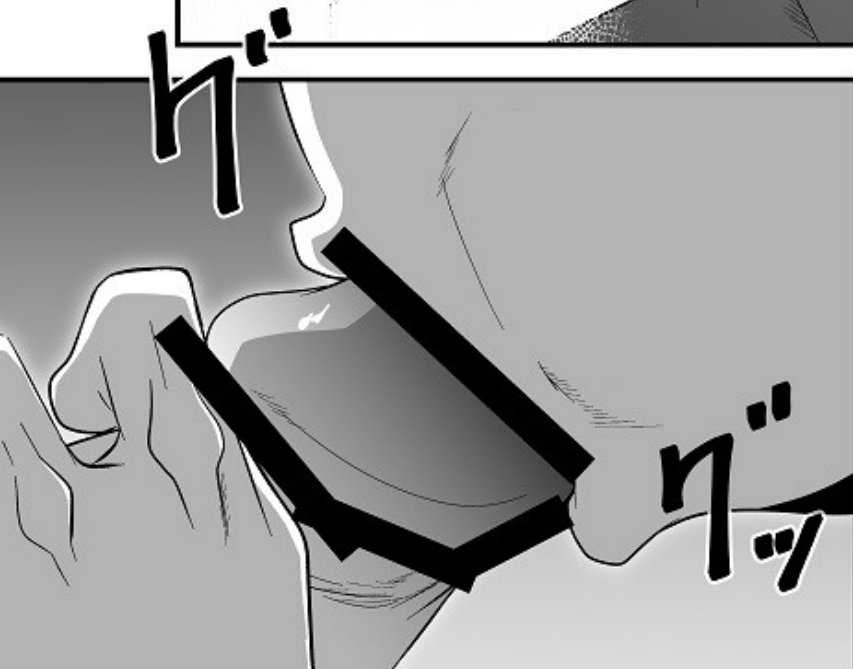
ふ  
ふ  
ふ  
...

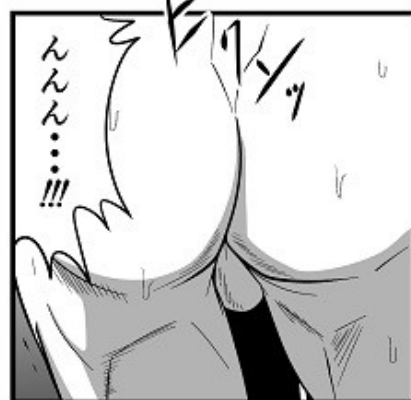


ほ  
ほ  
お!!

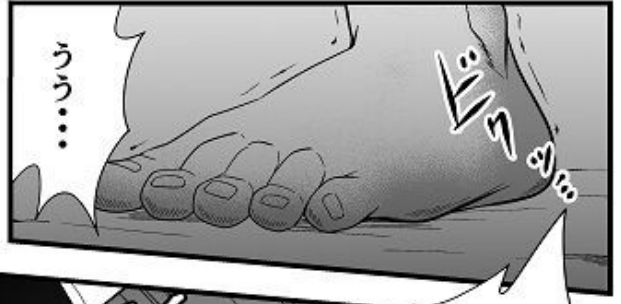
こいつはまた  
一段と!!

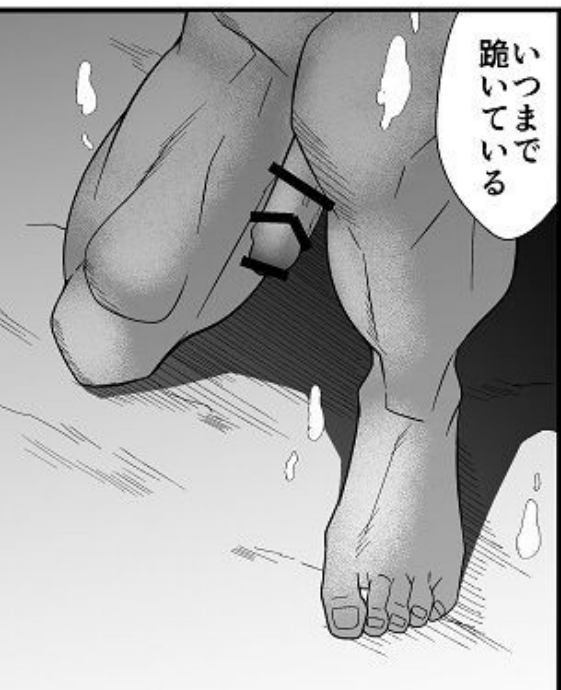
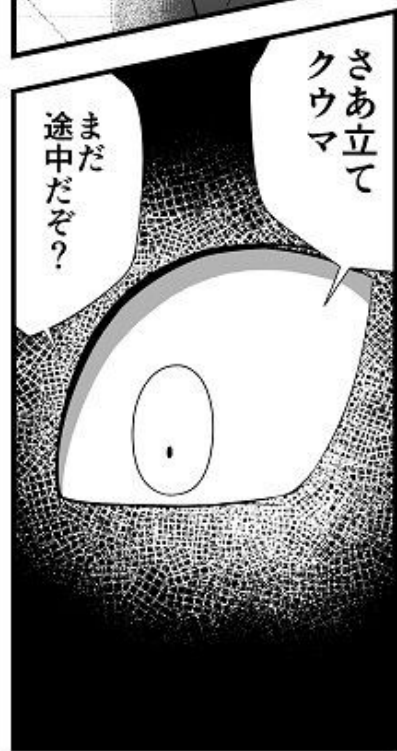














はい…  
申し訳ありません  
センノ様



んぐっ!!



クッ…



喜ベクウマ  
お前のちんこは  
絶品だぞ

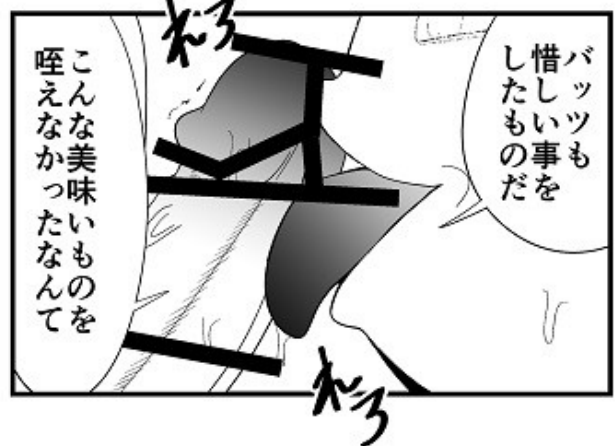
口の中に  
どんどん味が  
しみ込んでくる…

くっ…  
うぐぐ…



んあぁっ…

ん…





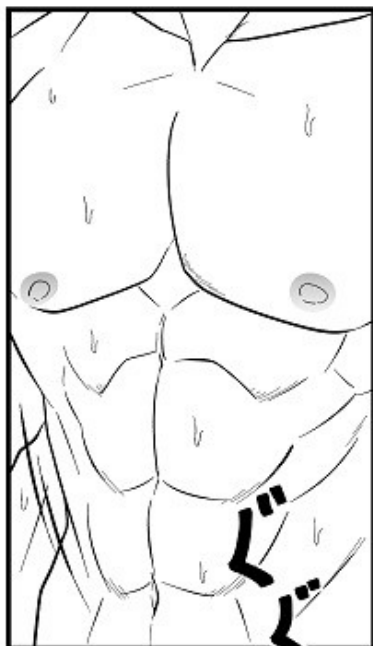




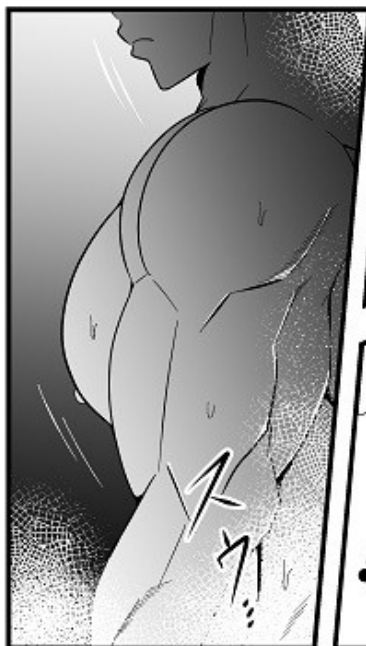
はい...  
センノ...  
様...

センノ...

さま...!!



ズン...



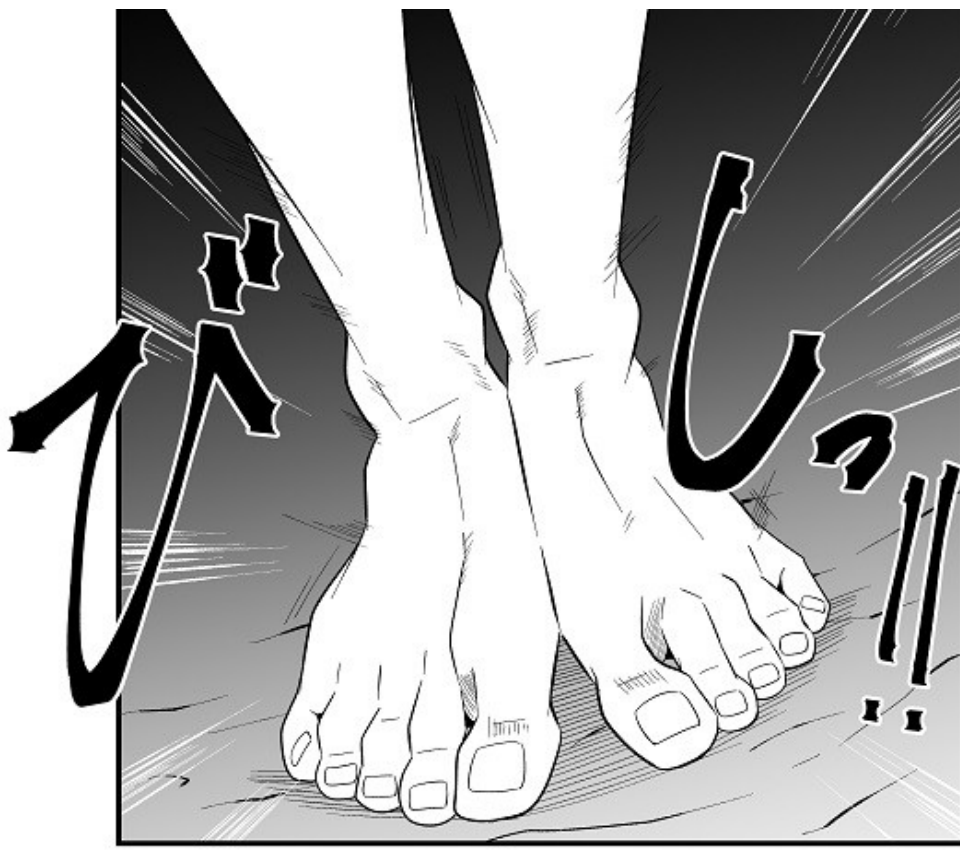
ア...



気を付けだ  
クウマ!!!

!!

クウマ!!!

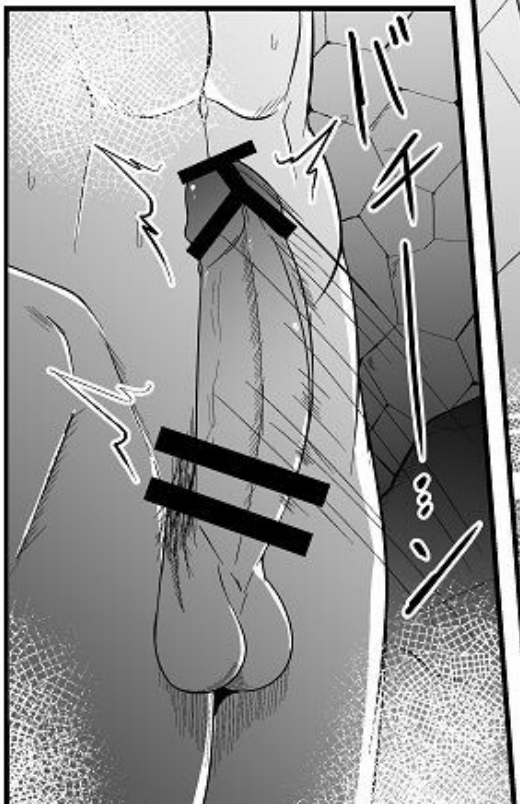




はい  
わかりました  
センノ様



よろしい!

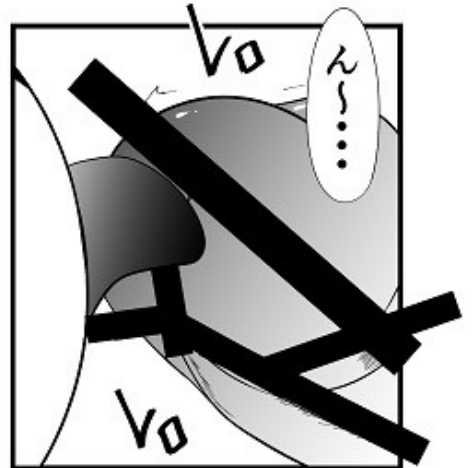


ジュジュッ

今からどんなに  
気持ち良くても  
そのままの  
姿勢でいろ

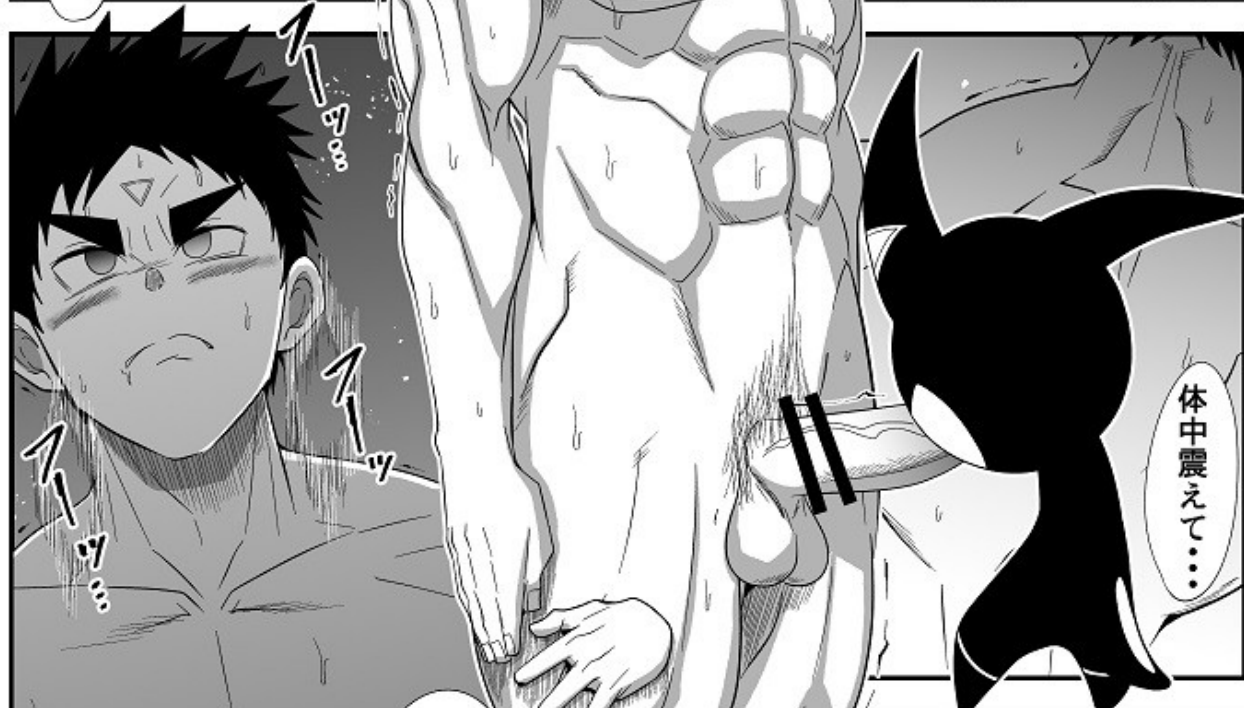
ひん  
ひん

ス  
ス  
ス

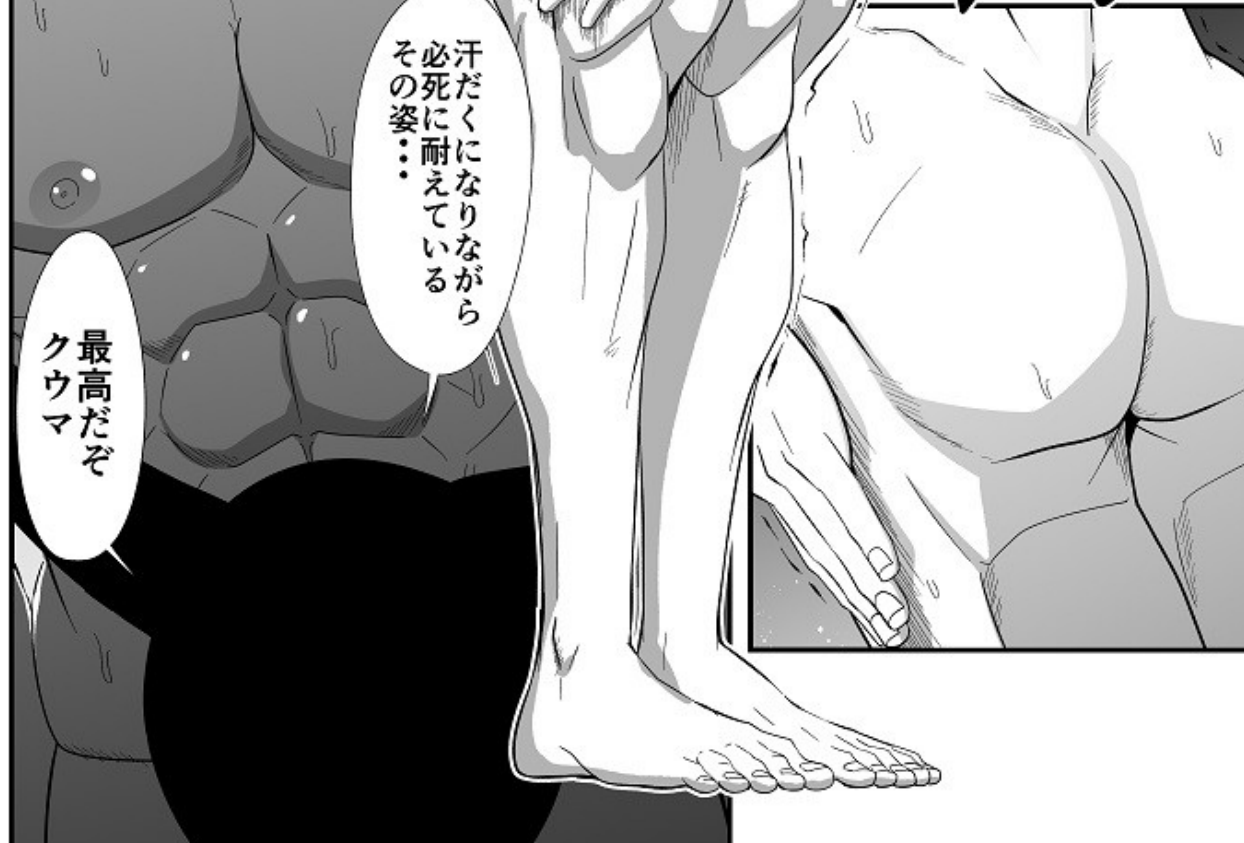




良い  
息遣いだ



体中震えて...



汗だくになりながら  
必死に耐えている  
その姿...

最高だぞ  
クウマ



数時間前  
波動島

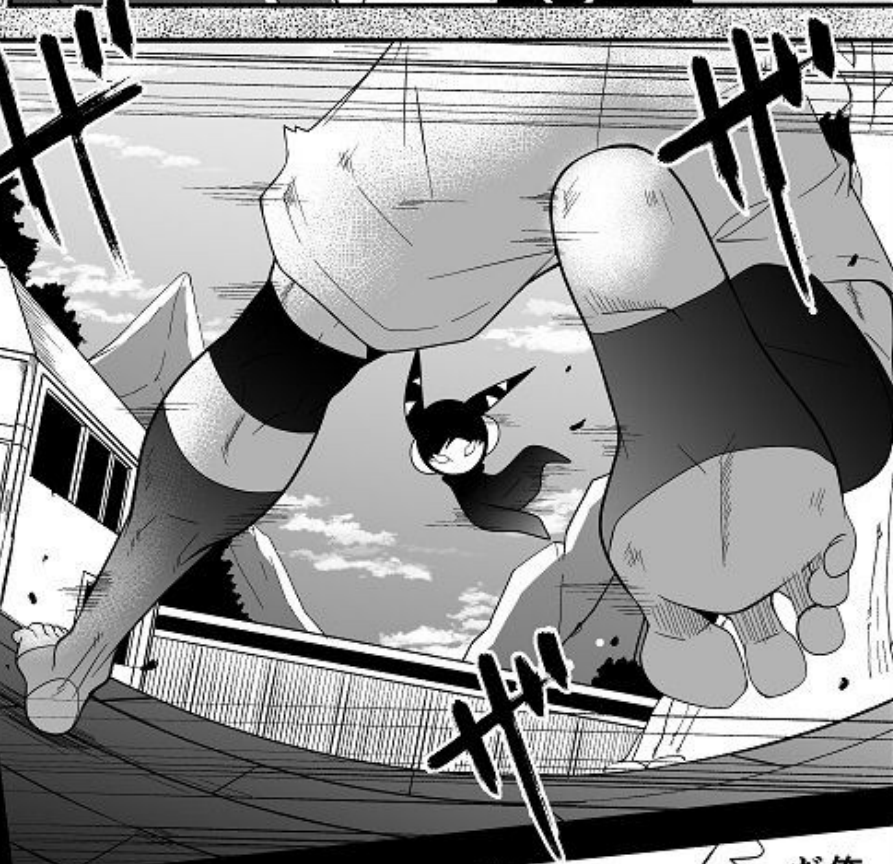


あんなに  
抵抗していたのに...



野郎の悪い  
気味だな!!

ズット  
見てきたって?



俺を倒すため  
だろうが...



貴様にだけは  
絶対負けねえ!!!

あれほど  
威勢の良かった  
男の……

生まれ変わる前の  
お前を思いながら  
味わうちんこは

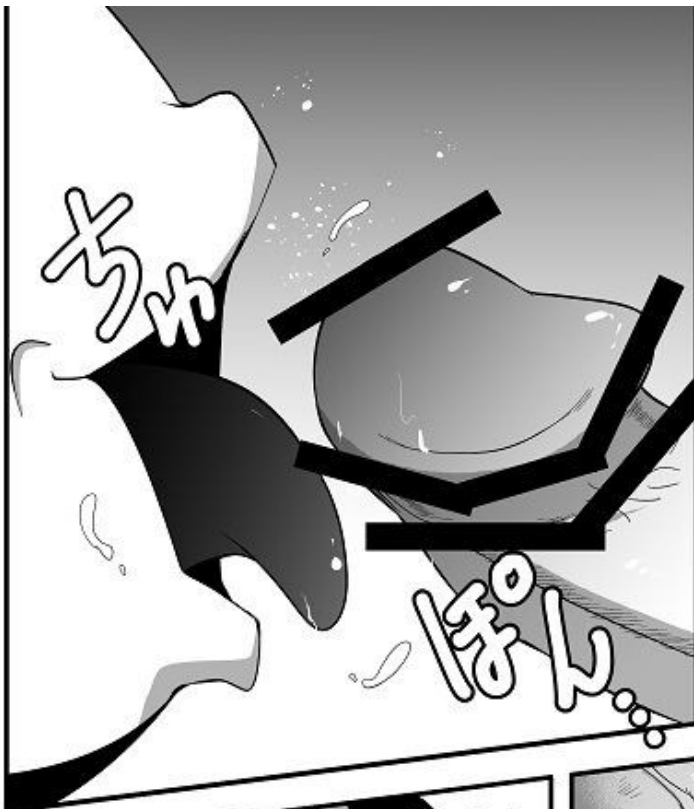
格別だぞ  
クウマ



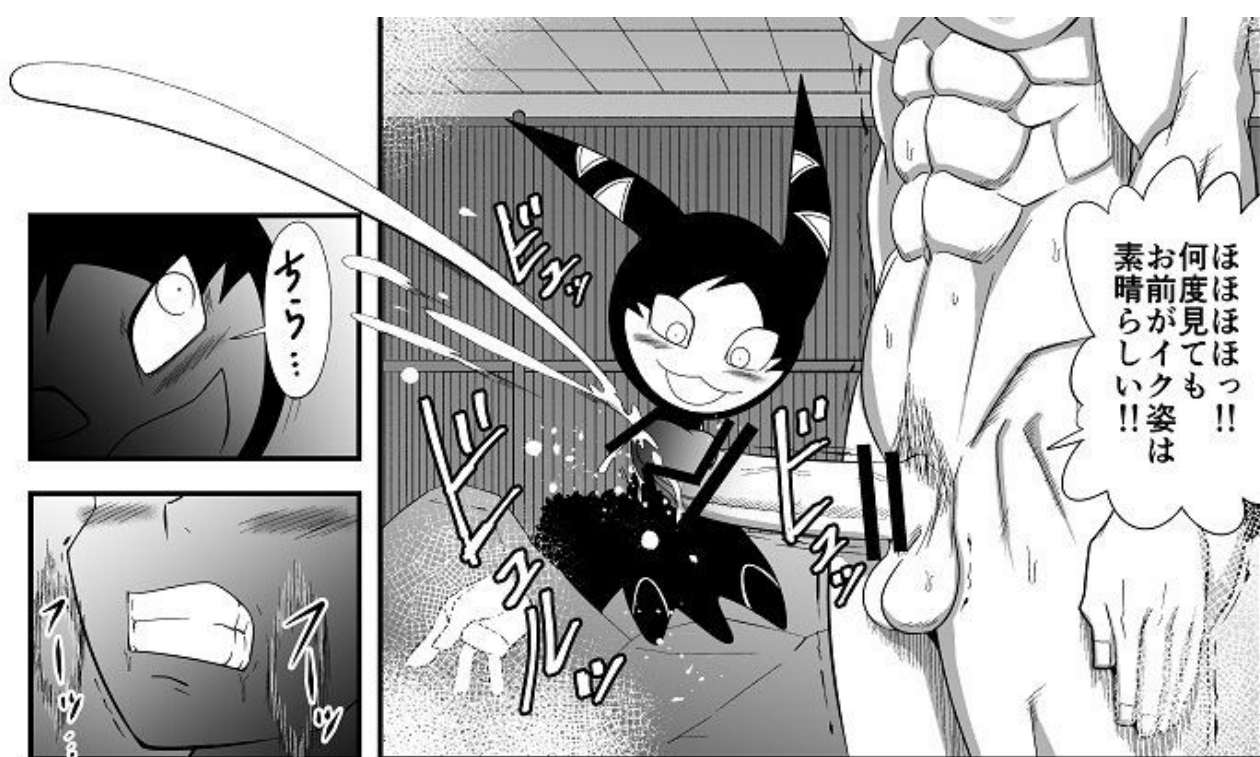
うあっ……

ぐああ……  
あああ……













は……い……  
せん……  
ま……

それで良い！  
最後の一滴まで  
絞り出せ！！



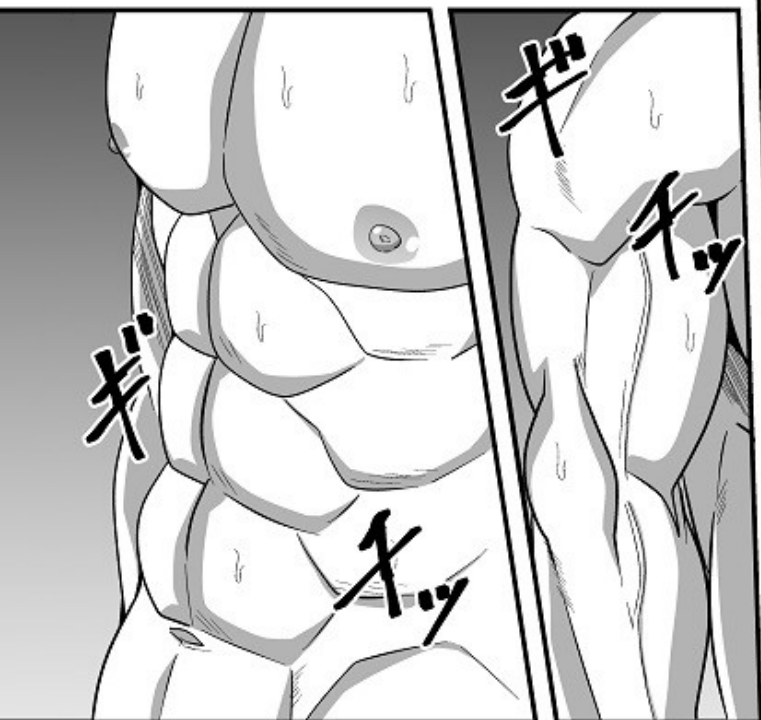
ふっ……  
ガッ……

くあっ

おっ

あっ……

んんっ









改めて惚れ直したぞ

よくぞ私の命令を守り抜き  
快楽に耐えたな



お前は...  
最高にカッコ良い  
男だ



お前は  
自慢の兵器だ

私の  
クウマ...



ありがとうございます...

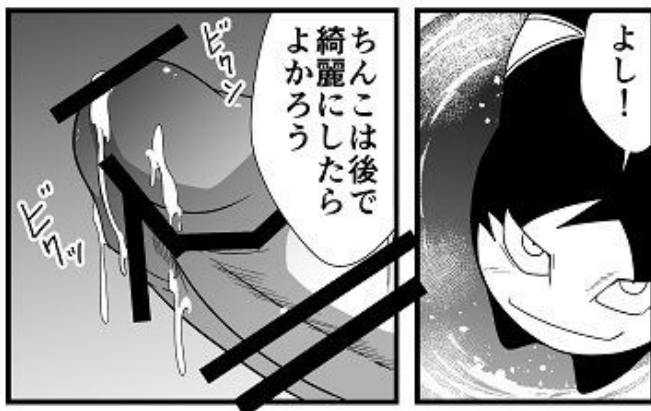
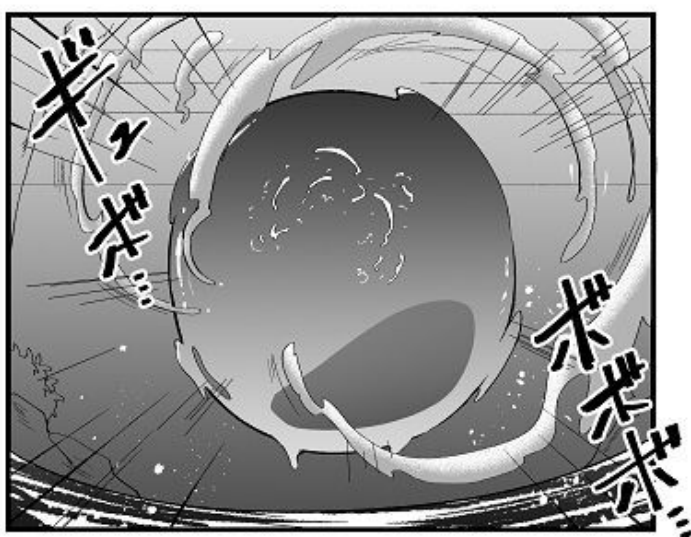
センノ様

はっ...

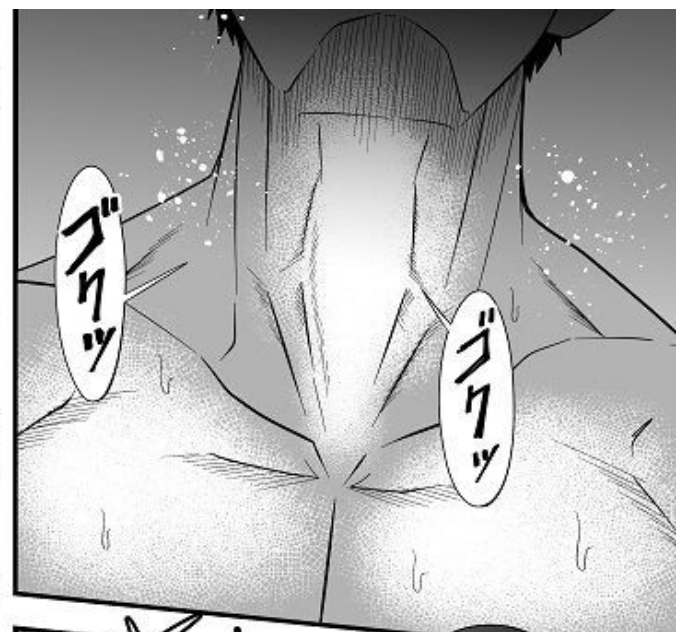
ハッ

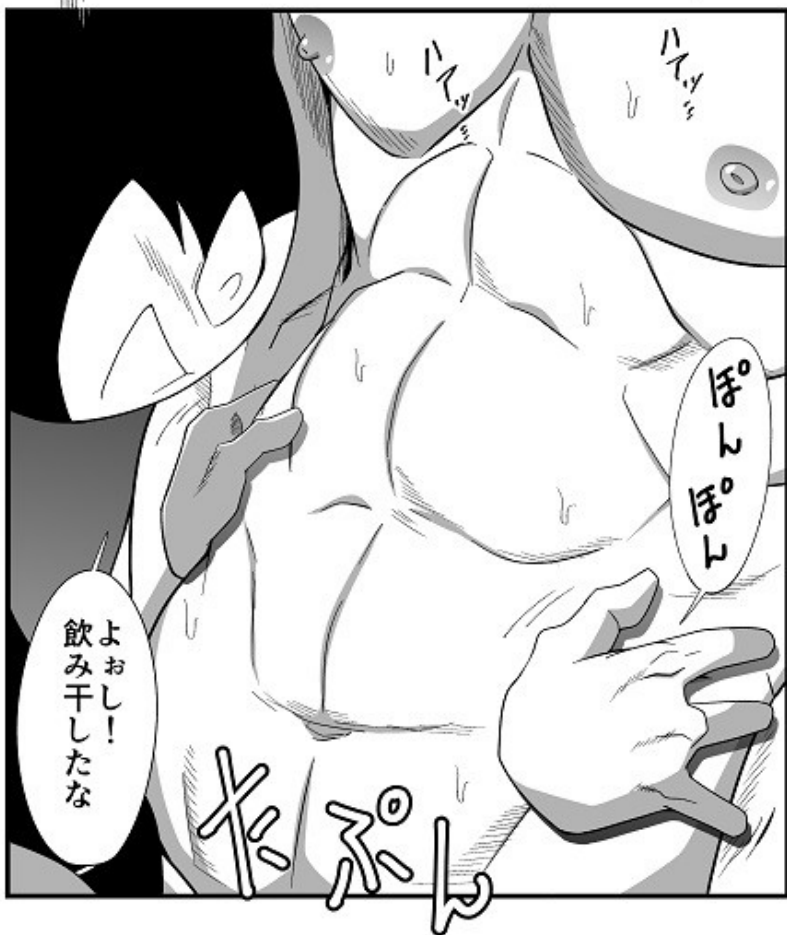
ハッ

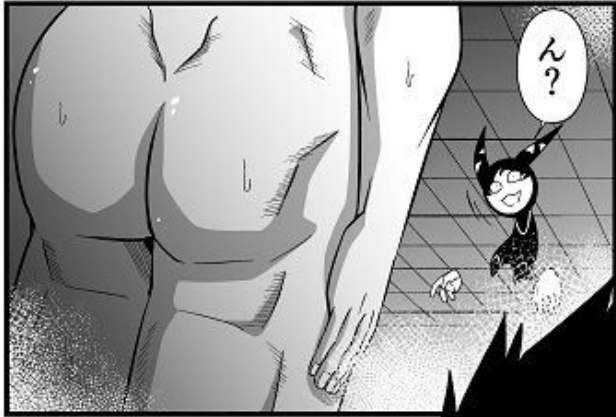


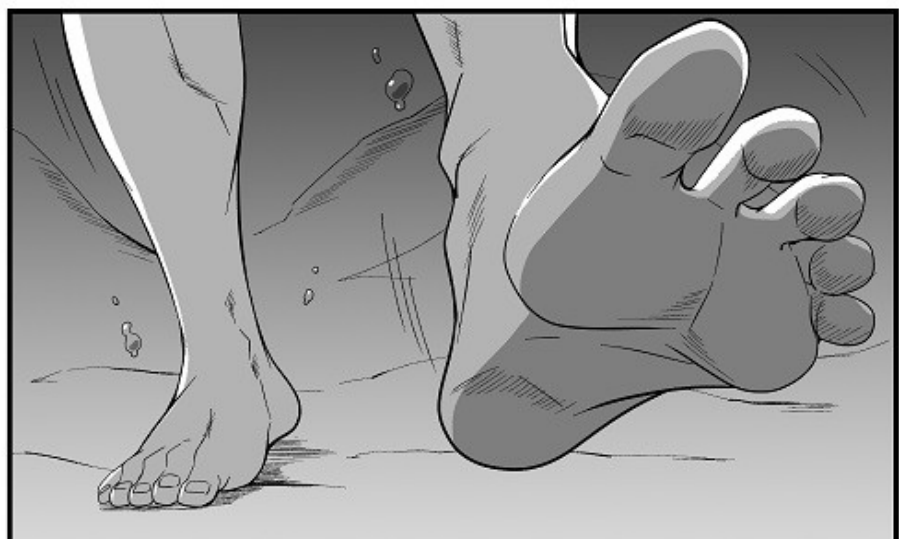














いやはあ  
実際に楽し  
時間だったな

念願の  
クウマの  
ちんこ

舌に残る  
感触……



なあクウマ  
ちんこは好きか？

はい  
せんノ様

はははっ  
そうだな  
ヌードソルジャーにとつて  
ちんこは一番のご馳走…

ちんこの事を  
考えると  
興奮するだろう？



昨日までちんこで  
勃つ男になるとは  
思つてもいなかった  
だろうに

ふふふ…



はい  
せんノ様

××



だがお前はまだ  
ちんこの味を  
知らない……

はい  
センノ様

安心しろ  
クウマ

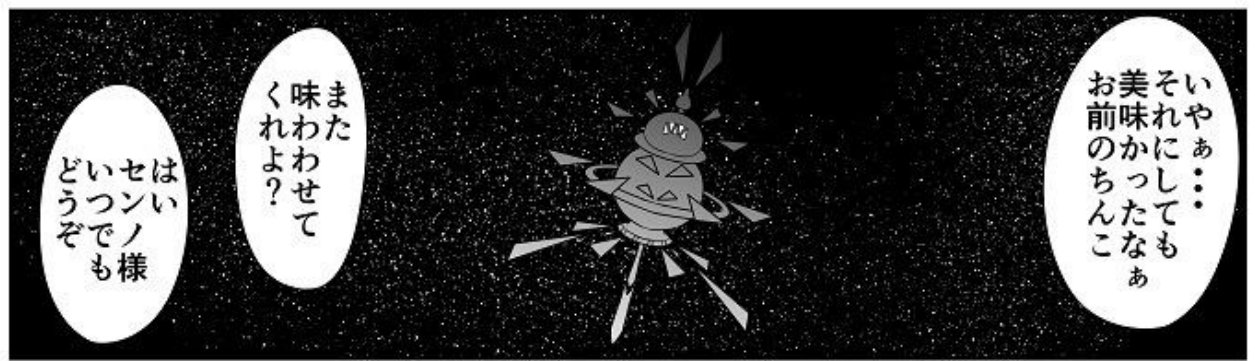
近いうち必ず  
お前にも  
味わわせてやる



その時を  
楽しみにしておけ

ムムム

は  
分  
かり  
まし  
た  
セン  
ノ  
様



そいやあ……  
それにしても  
美味かったなあ  
お前のちんこ

また  
味わせて  
くれよ?

はい  
センノ  
様  
どうぞ

## 登場キャラクター 紹介

センノ

地球侵略を企む  
究極の肉体とちんこを  
こよなく愛する異星人。

手中に収めたクウマに  
色々な命令を与え  
充実した日々を過ごしている。

ヌードソルジャー1号機  
クウマ

センノが発明したSチップを  
脳に埋め込まれ、  
肉体や意思、感情を全てセンノに  
支配されてしまったクウマの姿。

意思の無い真紅に染まった瞳と  
命令が無い限り萎えることを  
知らない勃起したちんこが  
ヌードソルジャーの証である。

エース

センノの優秀な右腕であり  
同じ星出身の異星人。  
センノの考えに感銘を受け  
共に地球にやって来た。

Sチップの設計や  
アジトの建設など  
その技術をいかに発揮し  
センノの計画をサポート  
している。



ムムムン

せい  
の  
様

正常に作動する  
試させてもらうぞ



クウマ...  
Sチップには  
面白い機能が  
あるんだが...



ずず  
赤く染まった  
瞳が...

元の瞳の色に  
再現され...



ピキーン!!  
ピキーン!!

すると?

Sチップの  
変装モードを  
オンに...

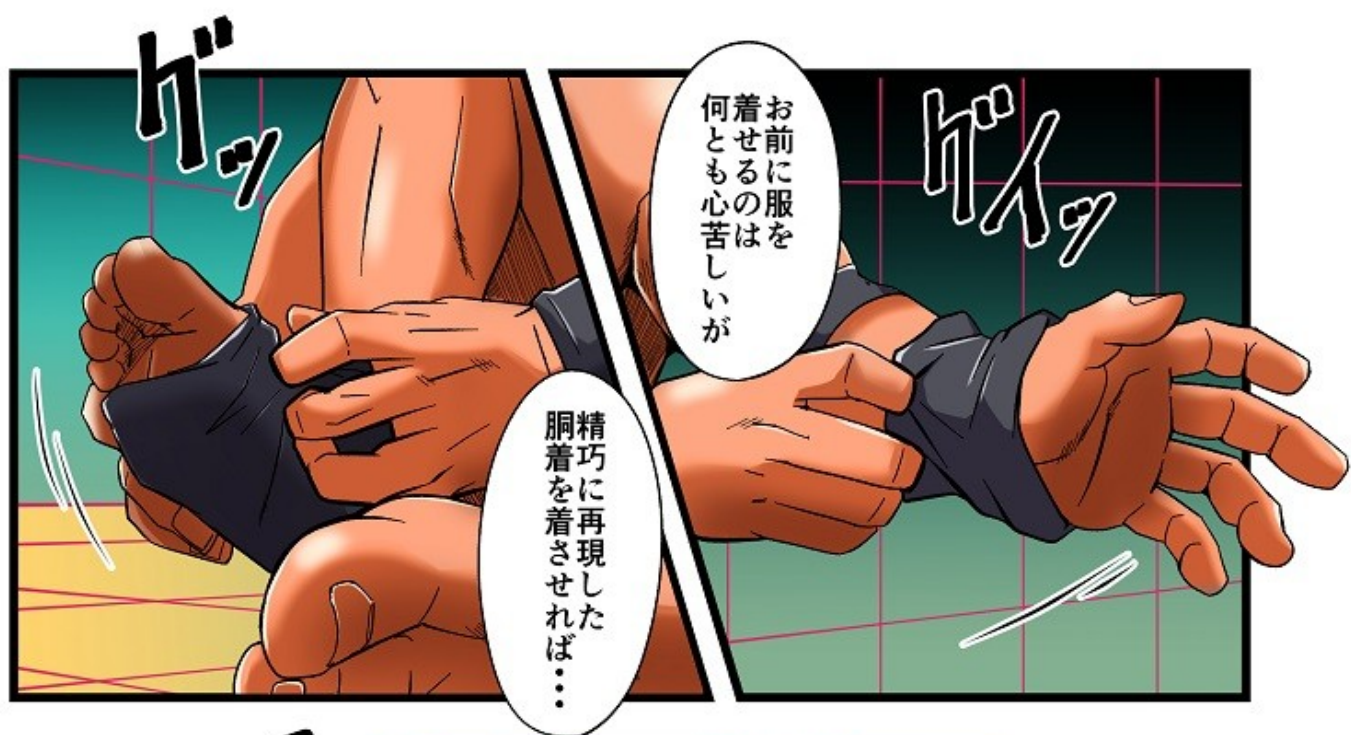


ヌードソルジャーの  
証である  
このいきり勃つ  
雄々しいちんこも?

ビキッ...







見事  
波動島の武道家  
クウマの完成だ!!!

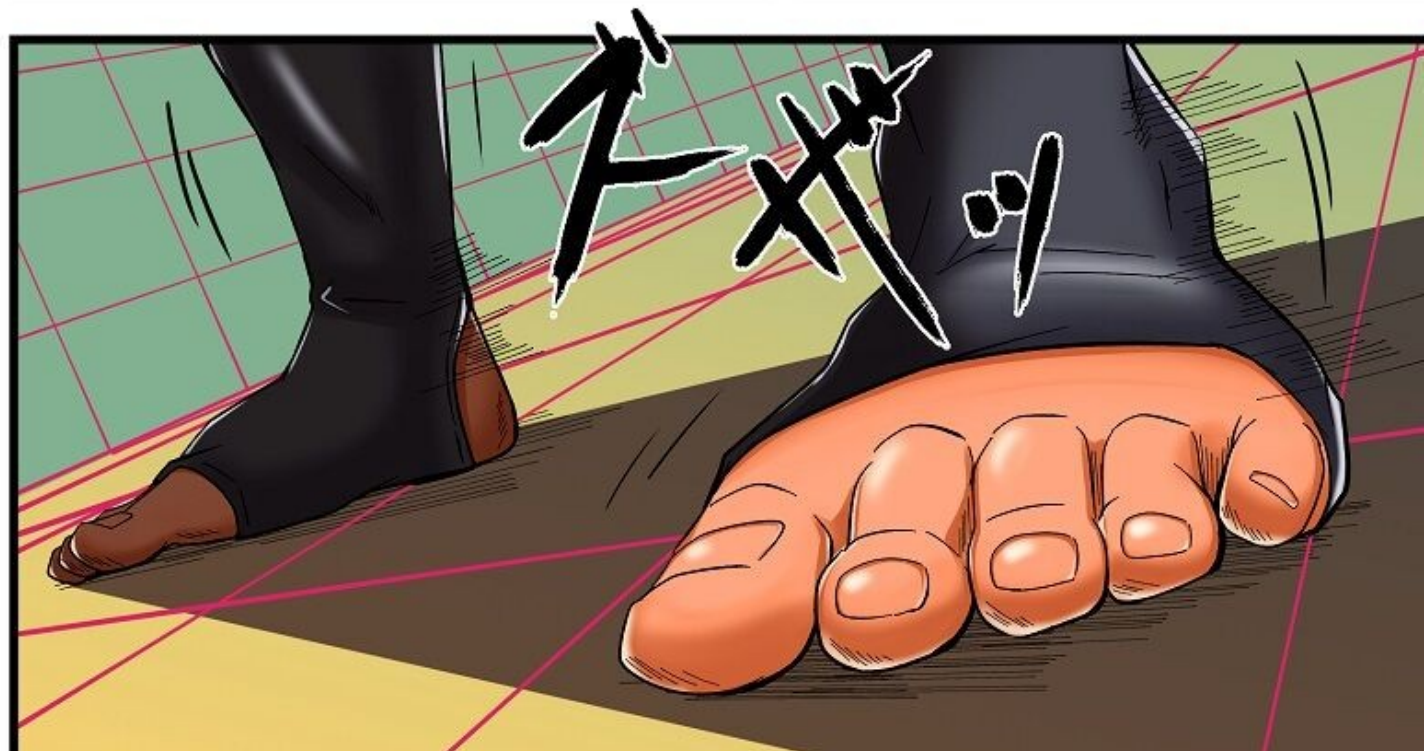
ぐっ!!

ぐっ!!

変装モード  
問題なく  
作動するようですね

うむ!











はい  
センノ様

そうだな  
お前もそろそろ  
ちんこをさらけ  
出したいだろ？  
クウマ



ああ...  
そう思ったら

私はダメだ  
エース  
こんな  
わずかな時間すら  
我慢できん



お前の筋肉が...  
ちんこが観たくて  
堪らんよクウマ

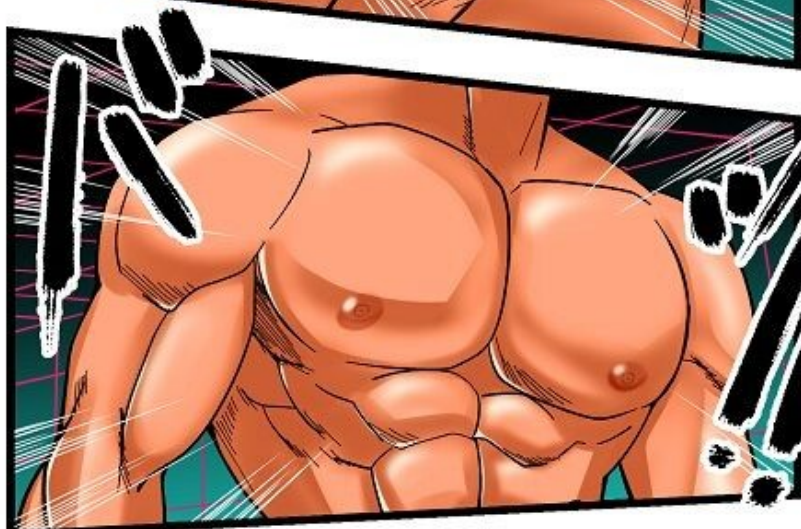
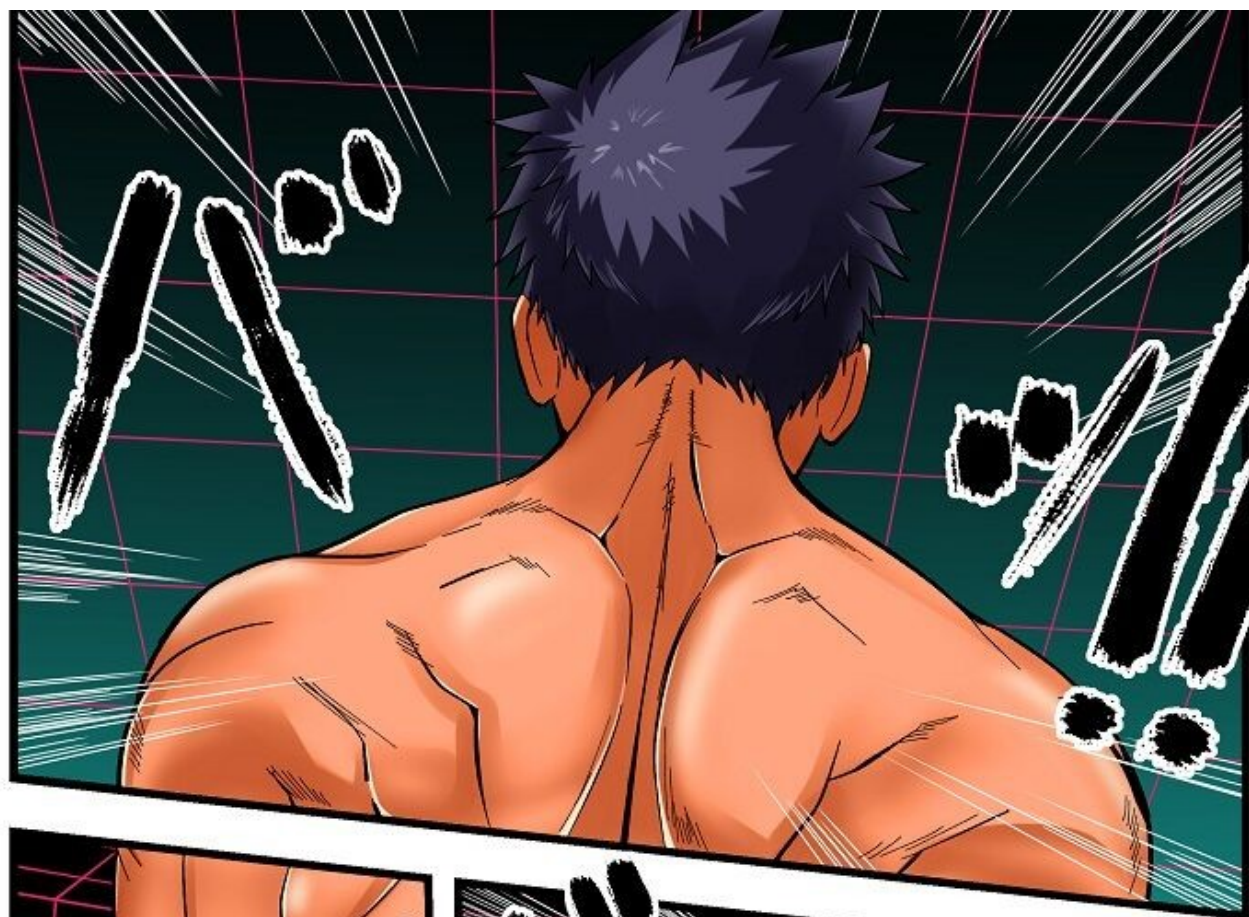
ふふ...  
ではテストも  
完了したことですし

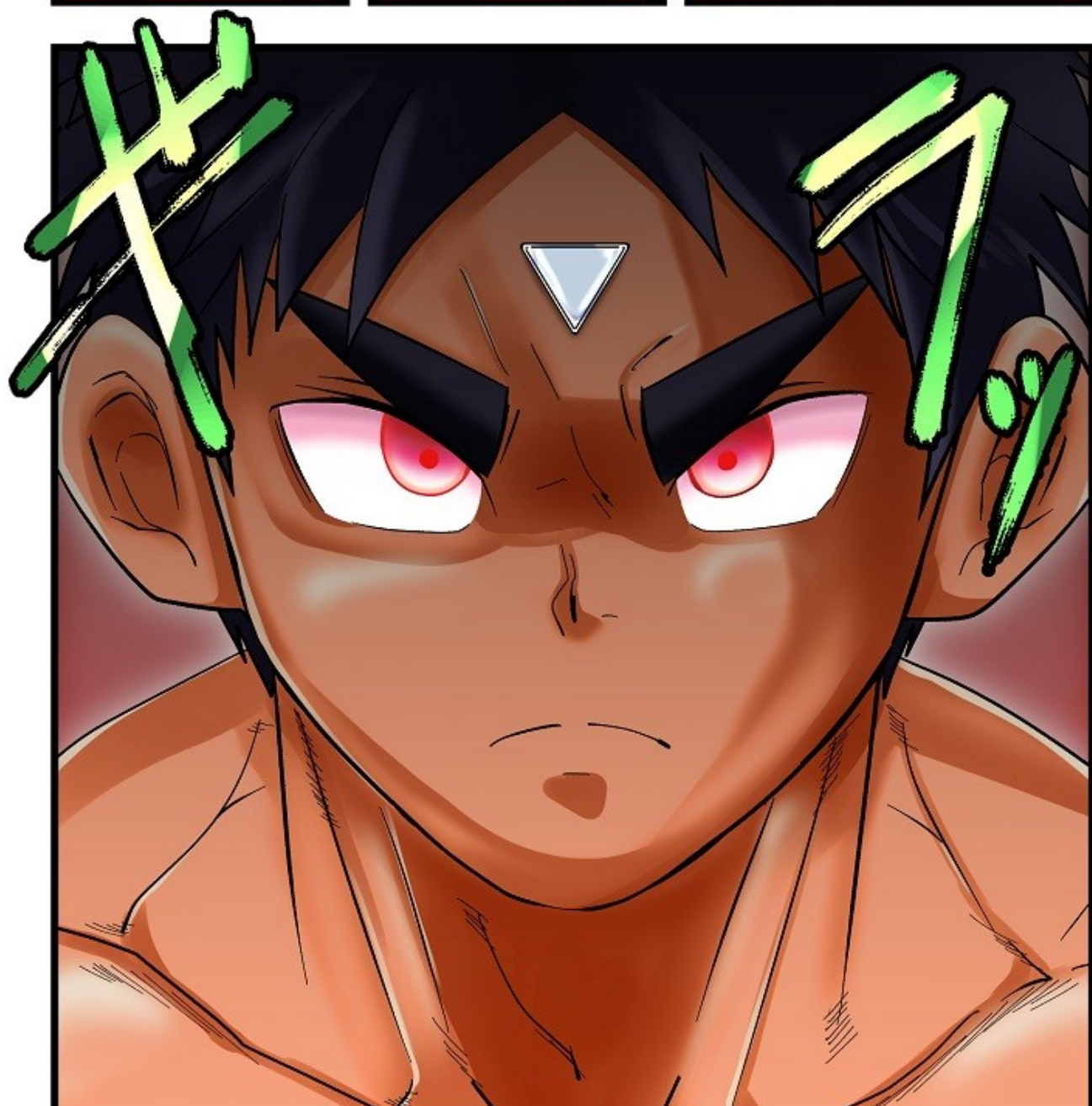
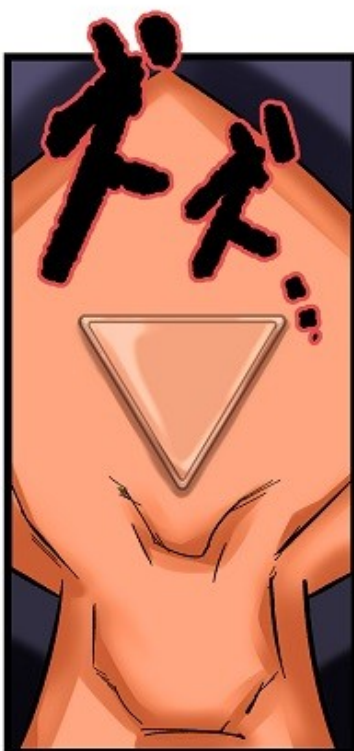
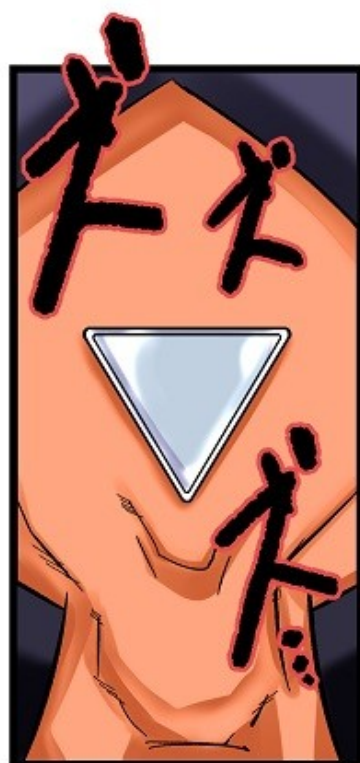


よし！  
裸になれクウマ

元の姿に  
戻るんだ!!

はい  
分かりました  
センノ様









ふん...  
ふふふ

やはり  
こうでなくては!!



お前は  
この姿が  
一番  
似合う



せは  
んノ  
様



さて...  
トレーニングの  
時間だな  
行こうか  
クウマ

ムズッ



~終わり~